

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problems Mailbox.**

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-57213

(P2000-57213A)

(43)公開日 平成12年2月25日 (2000.2.25)

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>

G 0 6 F 17/60  
17/30

識別記号

F I

G 0 6 F 15/21  
15/40

テーマコード(参考)

Z 5 B 0 4 9  
3 3 0 5 B 0 7 5  
3 1 0 F  
3 7 0 Z

審査請求 未請求 請求項の数 6 OL (全 33 頁)

(21)出願番号

特願平10-222137

(22)出願日

平成10年8月5日 (1998.8.5)

(71)出願人 000139012

株式会社リクルート

東京都中央区銀座8丁目4番17号

(72)発明者 三牧 義明

東京都中央区銀座8丁目4番17号 株式会  
社リクルート内

(72)発明者 小笠原 善典

東京都中央区銀座8丁目4番17号 株式会  
社リクルート内

(74)代理人 100071283

弁理士 一色 健輔 (外2名)

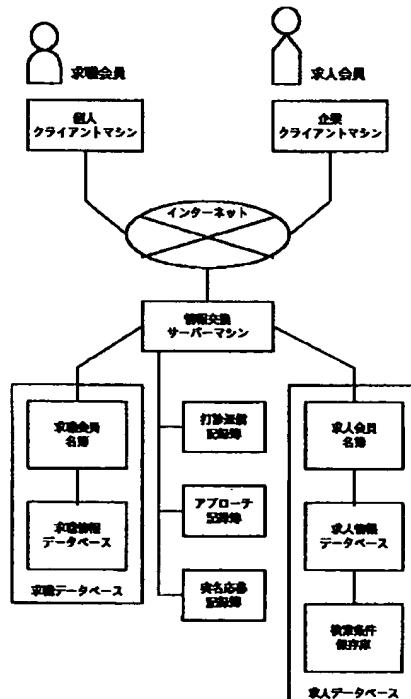
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 求人求職などの情報交換システム

(57)【要約】

【課題】 WWWサーバーとして機能する求人求職情報  
交換システムであって、求職者と求人企業との有意義な  
情報交換に役立たせる。

【解決手段】 求職会員と求人会員のそれぞれについて  
の名簿情報を求職会員名簿および求人会員名簿として管  
理し、求人情報は求職会員コンピュータに対して、求職  
情報は求人会員コンピュータに対してそれぞれ検索閲覧  
に供する。ただし、求人会員コンピュータに対しては匿  
名求職情報のみ検索閲覧に供する。求人会員コンピュ  
ータからの匿名求職情報に対するコメント情報の内容を求  
職会員コンピュータに提示する。このコメント情報に付  
帯して、実名応募用の画面情報を求職会員コンピュータ  
に送る。実名応募する旨の回答を得た場合、該当の求職  
会員についての前記名簿情報も該当の求人会員コンピュ  
ータにて閲覧可能とする。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 つぎの事項(1)～(11)により特定される発明。

(1) プログラムされたコンピュータを用いた情報処理システムであり、外部のコンピュータとインターネットを介して通信してWWWサーバーとして機能する求人求職情報交換システムである。

(2) アクセスしてきた外部のコンピュータと通信して、希望に応じて求職情報を記入するための画面情報を送達し、そのコンピュータにて記入された求職情報を取得して求職データベースに蓄積する。

(3) 情報交換サービスの対象者として登録された求職会員についての名前・住所・連絡先と会員IDとを求職会員名簿として管理する。

(4) 情報交換サービスの対象者として登録された求人会員についての名前・住所・連絡先と会員IDとを求人会員名簿として管理する。求人会員が提示した求人情報を求人データベースに蓄積する。

(5) アクセスしてきた求職会員コンピュータと通信して、希望に応じて求人データベースの求人情報を検索閲覧に供する。

(6) アクセスしてきた求人会員コンピュータと通信して、希望に応じて求職データベースに蓄積されている求職情報を検索閲覧に供する。ただし求職データベースの求職情報は、発信者の名前・住所・連絡先などの個人を特定できる名簿情報と、その名簿情報を除いた匿名求職情報とに区別しており、求人会員コンピュータに対して検索閲覧に供するのは匿名求職情報のみである。

(7) 検索閲覧を希望している求人会員コンピュータに前記匿名求職情報を送達するときに、当該匿名求職情報に対するコメント情報を記入するための画面情報を添付する。

(8) 求人会員コンピュータにて記入された前記匿名求職情報に対するコメント情報を取得して、当該コメント情報を発信した求人会員のIDおよび当該コメント情報の対象者である求職会員のIDに対応づけてコメント記録簿に記入する。

(9) 前記コメント情報の取得を契機として、コメント情報が送られてきた旨を伝える電子メールを作成し、コメント記録簿において当該コメント情報に対応づけされている求職会員IDに基づいて、その電子メールを該当の求職会員宛てに発送する。

(10) アクセスしてきた求職会員コンピュータと通信して、希望に応じて当該求職会員IDに基づいて当該求職会員に宛てた前記コメント情報をコメント記録簿から抽出し、そのコメント情報の内容を求職会員コンピュータに提示する。このコメント情報に付帯して、コメント情報を発信した求人会員の求人案件に実名応募するかどうかを求職会員に問い合わせる画面情報を求職会員コンピュータに送る。

(11) 実名応募する旨の回答を求職会員コンピュータから得た場合、そのことを伝える電子メールを作成して該当の求人会員宛てに発送するとともに、求職データベースにおける該当の求職会員についての前記匿名求職情報に加えて前記名簿情報も該当の求人会員コンピュータにて閲覧可能とする。

【請求項2】 請求項1に記載の求人求職情報交換システムであって、つぎの発明特定事項(21)～(23)を備える。

(21) アクセスしてきた求職会員コンピュータと通信して、自分の求職情報を見てほしい相手として特定の求人会員を指名する打診入力を受け付けて、求人会員別の打診者リストにその求職会員IDを記入する。

(22) アクセスしてきた求人会員コンピュータと通信して、希望に応じて、当該求人会員IDに対応づけられている前記打診者リストに基づいて、求職データベースにおける各打診者の求職情報を匿名状態で一覧的に求人会員コンピュータに提示する。

(23) 求人会員別の応募者リストを作成し、実名応募する回答してきた求職会員IDを記入する。アクセスしてきた求人会員コンピュータと通信して、希望に応じて、当該求人会員IDに対応づけられている前記応募者リストに基づいて、求職データベースにおける各応募者の求職情報を実名状態で一覧的に求人会員コンピュータに提示する。

【請求項3】 請求項1または請求項2に記載の求人求職情報交換システムであって、つぎの発明特定事項(31)～(33)を備える。

(31) 求人会員が不特定の求職会員からの応募を受け付けるか否かについて、各求人会員の意志を問い合わせて応募可否表に記入しておく。

(32) アクセスしてきた求職会員コンピュータと通信し、希望に応じて求人データベースの求人情報を閲覧させるプロセスにおいて、ある求人会員について前記応募可否表に応募を受け付ける旨が記入されている場合、その求人会員の求人情報を求職会員コンピュータに送達するときに、該当の求人案件に実名応募するかどうかを問い合わせる画面情報を送る。

(33) 実名応募する旨の回答を求職会員コンピュータから得た場合、そのことを伝える電子メールを作成して該当の求人会員宛てに発送するとともに、求職データベースにおける該当の求職会員についての前記匿名求職情報に加えて前記名簿情報も該当の求人会員コンピュータにて閲覧可能とする。

【請求項4】 つぎの事項(41)～(51)により特定される発明。

(41) プログラムされたコンピュータを用いた情報処理システムであり、外部のコンピュータとインターネットを介して通信してWWWサーバーとして機能する情報交換システムである。

(42) アクセスしてきた外部のコンピュータと通信して、希望に応じて第1種会員提示情報を記入するための画面情報を送達し、そのコンピュータにて記入された第1種会員提示情報を取得して第1種データベースに蓄積する。

(43) 情報交換サービスの対象者として登録された第1種会員についての名前・住所・連絡先と会員IDとを第1種会員名簿として管理する。

(44) 情報交換サービスの対象者として登録された第2種会員についての名前・住所・連絡先と会員IDとを第2種会員名簿として管理する。第2種会員が提示した第2種会員提示情報を第2種データベースに蓄積する。

(45) アクセスしてきた第1種会員コンピュータと通信して、希望に応じて第2種データベースの第2種会員提示情報を検索閲覧に供する。

(46) アクセスしてきた第2種会員コンピュータと通信して、希望に応じて第1種データベースに蓄積されている第1種会員提示情報を検索閲覧に供する。ただし第1種データベースの第1種会員提示情報は、発信者の名前・住所・連絡先などの個人を特定できる名簿情報と、その名簿情報を除いた匿名情報とに区別してあり、第2種会員コンピュータに対して検索閲覧に供するのは匿名情報のみである。

(47) 検索閲覧を希望している第2種会員コンピュータに前記匿名情報を送達するときに、当該匿名情報に対するコメント情報を記入するための画面情報を添付する。

(48) 第2種会員コンピュータにて記入された前記匿名情報に対するコメント情報を取得して、当該コメント情報を発信した第2種会員のIDおよび当該コメント情報の対象者である第1種会員のIDに対応づけてコメント記録簿に記入する。

(49) 前記コメント情報の取得を契機として、コメント情報が送られてきた旨を伝える電子メールを作成し、コメント記録簿において当該コメント情報に対応づけされている第1種会員IDに基づいて、その電子メールを該当の第1種会員宛てに発送する。

(50) アクセスしてきた第1種会員コンピュータと通信して、希望に応じて当該第1種会員IDに基づいて当該第1種会員に宛てた前記コメント情報をコメント記録簿から抽出し、そのコメント情報の内容を第1種会員コンピュータに提示する。このコメント情報に付帯して、コメント情報を発信した第2種会員の提示案件に実名応答するかどうかを第1種会員に問い合わせる画面情報を第1種会員コンピュータに送る。

(51) 実名応答する旨の回答を第1種会員コンピュータから得た場合、そのことを伝える電子メールを作成して該当の第2種会員宛てに発送するとともに、第1種データベースにおける該当の第1種会員についての前記匿名情報に加えて前記名簿情報も該当の第2種会員コンピュータにて閲覧可能とする。

【請求項5】 請求項4に記載の情報交換システムであって、つぎの発明特定事項(61) (62) (63)を備える。

(61) アクセスしてきた第1種会員コンピュータと通信して、自分の第1種会員提示情報を見てほしい相手として特定の第2種会員を指名する打診入力を受け付けて、第2種会員別の打診者リストにその第1種会員IDを記入する。

10 (62) アクセスしてきた第2種会員コンピュータと通信して、希望に応じて、当該第2種会員IDに対応づけられている前記打診者リストに基づいて、第1種データベースにおける各打診者の第1種会員提示情報を匿名状態で一覧的に第2種会員コンピュータに提示する。

(63) 第2種会員別の実名応答者リストを作成し、実名応答すると回答してきた第1種会員IDを記入する。アクセスしてきた第2種会員コンピュータと通信して、希望に応じて、当該第2種会員IDに対応づけられている前記実名応答者リストに基づいて、第1種データベースにおける各実名応答者の第1種会員提示情報を実名状態で一覧的に第2種会員コンピュータに提示する。

【請求項6】 請求項4または請求項5に記載の情報交換システムであって、つぎの発明特定事項(71) (72) (73)を備える。

(71) 第2種会員が不特定の第1種会員からの実名応答を受け付けるか否かについて、各第2種会員の意志を問い合わせて受付可否表に記入しておく。

30 (72) アクセスしてきた第1種会員コンピュータと通信し、希望に応じて第2種データベースの第2種会員提示情報を閲覧させるプロセスにおいて、ある第2種会員について前記受付可否表に実名応答を受け付ける旨が記入されている場合、その第2種会員の提示情報を第1種会員コンピュータに送達するときに、該当の提示案件に実名応答するかどうかを問い合わせる画面情報を送る。

(73) 実名応答する旨の回答を第1種会員コンピュータから得た場合、そのことを伝える電子メールを作成して該当の第2種会員宛てに発送するとともに、第1種データベースにおける該当の第1種会員についての前記匿名情報に加えて前記名簿情報も該当の第2種会員コンピュータにて閲覧可能とする。

#### 【発明の詳細な説明】

##### 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、インターネット上にてWWWサーバーとして機能する情報交換システムに関し、たとえば求職者と求人企業との間をとりもって相互の有意義な情報交換に役立たせる情報処理技術に関する。

##### 【0002】

【従来の技術】インターネットを活用したさまざまな情報提供サービスが一般社会に急速に浸透してきた。WW

れたことにより、インターネット上の情報検索が直感的でグラフィカルなユーザー・インターフェースで行えるようになり、インターネット環境が激変した。インターネット上にてWWWの仕組みで情報を提供するコンピュータをWWWサーバーと呼び、WWWサーバーが提供する情報を検索閲覧するためにクライアント・コンピュータが備えるべきソフトウェアのことをWWWブラウザと呼んでいる。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】データベースにまつわる成熟した情報処理技術とインターネットWWWの仕組みが融合することで、社会的にきわめて意義深いさまざまな情報提供サービスが生みだされている。その応用分野は多岐にわたるが、たとえばその1つに企業から個人に向けた求人情報サービスとか、個人から企業に向けた求職情報のデータベース化などがある。具体的に説明する。個人の求職情報をWWWサーバーのデータベースに蓄積して求人企業の担当者がクライアント・コンピュータから検索閲覧できるようにし、また、企業の求人情報をWWWサーバーに蓄積して求職や転職を希望している個人がクライアント・コンピュータから検索閲覧できるようにする。これは技術的になんら困難ではなく、これに類するシステムはインターネット上にすでに運用されているであろう。

【0004】このような就職情報サービスについて、本発明者らはつぎのような課題があることを考察し、より有意義な情報サービスのあり方について研究した。まず、転職希望の明確な意志を固めていない潜在的な転職希望者が多いことを考察した。自分のキャリアプランに興味はあるものの、履歴書や職務経歴書を書いて求人企業に送ったり、直接電話で問い合わせをするといった具体的な行動に移せない人達である。これを潜在転職希望者と呼ぶ。これらの人達にとって、匿名のままで自分の経歴を企業の人事担当者に評価してもらえば有意義であろう。そのような機会があるということは、求人企業にとってはより多くの人材について経歴を調査できることになり、これも有意義なことであろう。そして匿名の潜在転職希望者の経歴および企業の求人内容に基づいて、互いの関心が深化するならば、匿名のままで新たな情報を交換したりし、最終的には匿名を解消して両者の直接交渉につなげる。

【0005】また、求職会員が最終的に転職の意志を固めたとき、情報サービスのシステムを通じて企業側に提示した求職情報の内容を再び書面として履歴書に書き直さなくてはならない。したがって、それまで企業に提示した求職情報は流用できる方が望ましい。さらに、求人側と直接交渉による転職活動を望んでいる求職者が遠隔地にいたり、多忙により直接面接をしに行くことができない場合も多い。そのため、実名による情報交換による具体的な交渉もできることが望ましい。前述のように、

10

20

30

40

身元を明した個人や企業と、匿名の人あるいは必要に応じて実名の人との間でオープンな情報を交換することで、社会的に有意義な価値を生みだせる分野は他にもいろいろあるであろう。この発明の目的は、前記のような情報交換サービスをWWWサーバーとしてインターネット上で効果的に実現することにある。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】第1の発明は求人求職情報交換システムであって、つぎの事項(1)～(11)によって特定されるものである。

(1) プログラムされたコンピュータを用いた情報処理システムであり、外部のコンピュータとインターネットを介して通信してWWWサーバーとして機能する求人求職情報交換システムである。

(2) アクセスしてきた外部のコンピュータと通信して、希望に応じて求職情報を記入するための画面情報を送達し、そのコンピュータにて記入された求職情報を取得して求職データベースに蓄積する。

(3) 情報交換サービスの対象者として登録された求職会員についての名前・住所・連絡先と会員IDとを求職会員名簿として管理する。

(4) 情報交換サービスの対象者として登録された求人会員についての名前・住所・連絡先と会員IDとを求人会員名簿として管理する。求人会員が提示した求人情報を求人データベースに蓄積する。

(5) アクセスしてきた求職会員コンピュータと通信して、希望に応じて求人データベースの求人情報を検索閲覧に供する。

(6) アクセスしてきた求人会員コンピュータと通信して、希望に応じて求職データベースに蓄積されている求職情報を検索閲覧に供する。ただし求職データベースの求職情報は、発信者の名前・住所・連絡先などの個人を特定できる名簿情報と、その名簿情報を除いた匿名求職情報とに区別してあり、求人会員コンピュータに対して検索閲覧に供するのは匿名求職情報のみである。

(7) 検索閲覧を希望している求人会員コンピュータに前記匿名求職情報を送達するときに、当該匿名求職情報に対するコメント情報を記入するための画面情報を添付する。

(8) 求人会員コンピュータにて記入された前記匿名求職情報に対するコメント情報を取得して、当該コメント情報を発信した求人会員のIDおよび当該コメント情報の対象者である求職会員のIDに対応づけてコメント記録簿に記入する。

(9) 前記コメント情報の取得を契機として、コメント情報が送られてきた旨を伝える電子メールを作成し、コメント記録簿において当該コメント情報に対応づけされている求職会員IDに基づいて、その電子メールを該当の求職会員宛てに発送する。

(10) アクセスしてきた求職会員コンピュータと通信し

て、希望に応じて当該求職会員IDに基づいて当該求職会員に宛てた前記コメント情報をコメント記録簿から抽出し、そのコメント情報の内容を求職会員コンピュータに提示する。このコメント情報に付帯して、コメント情報を発信した求人会員の求人案件に実名応募するかどうかを求職会員に問い合わせる画面情報を求職会員コンピュータに送る。

(11) 実名応募する旨の回答を求職会員コンピュータから得た場合、そのことを伝える電子メールを作成して該当の求人会員宛てに発送するとともに、求職データベースにおける該当の求職会員についての前記匿名求職情報に加えて前記名簿情報も該当の求人会員コンピュータにて閲覧可能とする。

【0007】第2の発明は上記事項(1)～(11)に加え、つぎの発明特定事項(21)(22)(23)を備えている。

(21) アクセスしてきた求職会員コンピュータと通信して、自分の求職情報を見てほしい相手として特定の求人会員を指名する打診入力を受け付けて、求人会員別の打診者リストにその求職会員IDを記入する。

(22) アクセスしてきた求人会員コンピュータと通信して、希望に応じて、当該求人会員IDに対応づけられている前記打診者リストに基づいて、求職データベースにおける各打診者の求職情報を匿名状態で一覧的に求人会員コンピュータに提示する。

(23) 求人会員別の応募者リストを作成し、実名応募すると回答してきた求職会員IDを記入する。アクセスしてきた求人会員コンピュータと通信して、希望に応じて、当該求人会員IDに対応づけられている前記応募者リストに基づいて、求職データベースにおける各応募者の求職情報を実名状態で一覧的に求人会員コンピュータに提示する。

【0008】さらに、第1または第2の発明において、つぎの発明特定事項(31)(32)(33)を備えた求人求職情報交換システムを第3の発明とした。

(31) 求人会員が不特定の求職会員からの応募を受け付けるか否かについて、各求人会員の意志を問い合わせて応募可否表に記入しておく。

(32) アクセスしてきた求職会員コンピュータと通信し、希望に応じて求人データベースの求人情報を閲覧させるプロセスにおいて、ある求人会員について前記応募可否表に応募を受け付ける旨が記入されている場合、その求人会員の求人情報を求職会員コンピュータに送達するときに、該当の求人案件に実名応募するかどうかを問い合わせる画面情報を送る。

(33) 実名応募する旨の回答を求職会員コンピュータから得た場合、そのことを伝える電子メールを作成して該当の求人会員宛てに発送するとともに、求職データベースにおける該当の求職会員についての前記匿名求職情報に加えて前記名簿情報も該当の求人会員コンピュータに

て閲覧可能とする。

【0009】第4の発明は情報交換情報交換システムであって、つぎの事項(41)～(51)により特定されるものである。

(41) プログラムされたコンピュータを用いた情報処理システムであり、外部のコンピュータとインターネットを介して通信してWWWサーバーとして機能する情報交換システムである。

10 (42) アクセスしてきた外部のコンピュータと通信して、希望に応じて第1種会員提示情報を記入するための画面情報を送達し、そのコンピュータにて記入された第1種会員提示情報を取得して第1種データベースに蓄積する。

(43) 情報交換サービスの対象者として登録された第1種会員についての名前・住所・連絡先と会員IDとを第1種会員名簿として管理する。

20 (44) 情報交換サービスの対象者として登録された第2種会員についての名前・住所・連絡先と会員IDとを第2種会員名簿として管理する。第2種会員が提示した第2種会員提示情報を第2種データベースに蓄積する。

(45) アクセスしてきた第1種会員コンピュータと通信して、希望に応じて第2種データベースの第2種会員提示情報を検索閲覧に供する。

30 (46) アクセスしてきた第2種会員コンピュータと通信して、希望に応じて第1種データベースに蓄積されている第1種会員提示情報を検索閲覧に供する。ただし第1種データベースの第1種会員提示情報は、発信者の名前・住所・連絡先などの個人を特定できる名簿情報と、その名簿情報を除いた匿名情報とに区別しており、第2種会員コンピュータに対して検索閲覧に供するのは匿名情報のみである。

(47) 検索閲覧を希望している第2種会員コンピュータに前記匿名情報を送達するときに、当該匿名情報に対するコメント情報を記入するための画面情報を添付する。

(48) 第2種会員コンピュータにて記入された前記匿名情報に対するコメント情報を取得して、当該コメント情報を発信した第2種会員のIDおよび当該コメント情報の対象者である第1種会員のIDに対応づけてコメント記録簿に記入する。

40 (49) 前記コメント情報の取得を契機として、コメント情報が送られてきた旨を伝える電子メールを作成し、コメント記録簿において当該コメント情報に対応づけされている第1種会員IDに基づいて、その電子メールを該当の第1種会員宛てに発送する。

(50) アクセスしてきた第1種会員コンピュータと通信して、希望に応じて当該第1種会員IDに基づいて当該第1種会員に宛てた前記コメント情報をコメント記録簿から抽出し、そのコメント情報の内容を第1種会員コンピュータに提示する。このコメント情報に付帯して、コメント情報を発信した第2種会員の提示案件に実名応答

するかどうかを第1種会員に問い合わせる画面情報を第1種会員コンピュータに送る。

(51) 実名応答する旨の回答を第1種会員コンピュータから得た場合、そのことを伝える電子メールを作成して該当の第2種会員宛てに発送するとともに、第1種データベースにおける該当の第1種会員についての前記匿名情報に加えて前記名簿情報も該当の第2種会員コンピュータにて閲覧可能とする。

【0010】第5の発明は、第4の発明において、つぎの発明特定事項(61) (62) (63)を備えている。

(61) アクセスしてきた第1種会員コンピュータと通信して、自分の第1種会員提示情報を見てほしい相手として特定の第2種会員を指名する打診入力を受け付けて、第2種会員別の打診者リストにその第1種会員IDを記入する。

(62) アクセスしてきた第2種会員コンピュータと通信して、希望に応じて、当該第2種会員IDに対応づけられている前記打診者リストに基づいて、第1種データベースにおける各打診者の第1種会員提示情報を匿名状態で一覧的に第2種会員コンピュータに提示する。

(63) 第2種会員別の実名応答者リストを作成し、実名応答すると回答してきた第1種会員IDを記入する。アクセスしてきた第2種会員コンピュータと通信して、希望に応じて、当該第2種会員IDに対応づけられている前記実名応答者リストに基づいて、第1種データベースにおける各実名応答者の第1種会員提示情報を実名状態で一覧的に第2種会員コンピュータに提示する。

【0011】第4または第5の発明において、つぎの発明特定事項(71) (72) (73)を備えた情報交換システムを第6の発明とした。

(71) 第2種会員が不特定の第1種会員からの実名応答を受け付けるか否かについて、各第2種会員の意志を問い合わせて受付可否表に記入しておく。

(72) アクセスしてきた第1種会員コンピュータと通信し、希望に応じて第2種データベースの第2種会員提示情報を閲覧させるプロセスにおいて、ある第2種会員について前記受付可否表に実名応答を受け付ける旨が記入されている場合、その第2種会員の提示情報を第1種会員コンピュータに送達するときに、該当の提示案件に実名応答するかどうかを問い合わせる画面情報を送る。

(73) 実名応答する旨の回答を第1種会員コンピュータから得た場合、そのことを伝える電子メールを作成して該当の第2種会員宛てに発送するとともに、第1種データベースにおける該当の第1種会員についての前記匿名情報に加えて前記名簿情報も該当の第2種会員コンピュータにて閲覧可能とする。

【0012】

【発明の実施の形態】====基本的なシステム構成と用語の説明====  
この発明の求人求職情報交換システムを中心としたネット

トワーク構成を図1に示しているこの図とともに以下の実施例で使用する用語について説明する。

【求職会員】…自分の名前・住所・連絡先・職務経験・資格などの求職情報をデータベースに登録する個人である。個人IDとパスワードとが割り当てられる。

【求人会員】…本システムに参画する企業などである。自社の募集職種や採用条件などの求人情報をデータベースに登録する。企業IDとパスワードとが割り当てられる。

10 [個人クライアントマシン]…求職会員が操作するコンピュータのことであり、インターネットに接続される。単にクライアントとも言う。

【企業クライアントマシン】…求人会員の担当者が操作するコンピュータのことであり、インターネットに接続される。単にクライアントとも言う。

【情報交換サーバーマシン】…この発明の求人求職情報交換システムとしてのコンピュータであり、インターネットに接続される。単にサーバーとも言う。

20 [打診]…求職会員がある求人会員を指名して自分の求職情報のうち、名前・住所・連絡先などの個人を特定できる名簿情報を除いた匿名求職情報を見てほしいと意思表示すること。

【返信】…打診された求人会員(打診対象企業)が打診してきた求職会員(打診者)の匿名求職情報を見てコメントを付けること。

【アプローチ】…求人会員が公開されている匿名求職情報を閲覧し、ある求職会員を指名して関心があると意思表示すること。

30 [実名応募]…求職会員がある求人会員を指名し、実名を証して自分を採用して欲しいと意志表示すること。

【0013】個人クライアントマシンあるいは企業クライアントマシンからの要求に応じ、情報交換サーバーマシンにてHTMLタイプの画面情報が生成され、インターネットのWWWの仕組みで要求クライアントマシンに送達される。クライアントマシン側でその画面情報に所要の情報を記入して情報交換サーバーマシンに返送することができる。情報交換サーバーマシンはWWWサーバーとしてだけでなく、電子メールサーバーとしても機能し、必要に応じて求職会員宛および求人会員宛に電子メールを発送する。

【0014】====データベースの概要====  
情報交換サーバーマシンには、つぎのように複数の系統に分れて階層構造をなすデータベースが構築される。

【求職会員名簿】…求職会員のID・パスワード・名前・住所・現職・電話番号・電子メールアドレスなどの一覧表であり、これにデータ有効期限や最新閲覧日などの管理データを付帯させている。

【求職情報データベース】…求職会員の個人IDをキーとして各個人の職務経験・資格・語学・各技術分野スキルを関係データベースとして集約したものである。

〔求人会員名簿〕…求人会員の企業ID・パスワード・企業概要・連絡先・電子メールアドレスなどの一覧表であり、これにデータ有効期限や最新閲覧日などの管理データを付帯させている。

〔求人情報データベース〕…企業IDをキーとして各社の募集職種や採用条件などの求人情報、不特定多数からの実名応募を受け付けるか否かが記入された応募可否表、実名応募してきた求職会員に対する質問事項など設問内容の情報を関係データベースとして集約したものである。

〔検索条件保存庫〕…求人会員が求職情報データベースを検索したときに設定した検索条件式を求人会員IDをキーとして保存しておく。

〔打診返信記録簿〕…求職会員が求人会員を打診したときに、打診者のIDと打診対象企業IDと打診日とをセットにして、その打診内容を記録する。その打診に対して企業が返信したときに、前記のデータセットに返信日と返信内容が追加記録される。

〔アプローチ記録簿〕…求人会員がある求職会員にアプローチしたとき、アプローチ企業IDとアプローチ対象個人IDとアプローチ日をセットにして記録する。

〔実名応募記録簿〕…求職会員が実名応募したとき、応募した企業IDと実名応募者個人IDと実名応募日をセットにして記録する。さらに、その後の実名応募者と企業間での直接交渉の後に採用／不採用が決定した場合は、その結果とその結果を下した決定日も付記する。

【0015】なお、これらの各データベースはIDを識別子として検索されるデータの集まりである。もちろん、各データベースに属する個々のデータは記憶領域の連続した領域に固まってあってもよいし、分散して存在してもよい。また、IDと格納場所とを対応づけたテーブルであってもよい。すなわち、サーバのデータ記憶装置内に記録されている各データがどのデータベースに属してどのIDに対応しているかがわかれればよく、あるデータベースのあるIDを指定したときに所定のデータを検索することができればそれでよいのである。

【0016】==求職会員および求人会員の初期登録==

この発明の求人求職情報交換システムが提供しているサービスに加入したいと希望する個人は、まず、個人クライアントマシンをインターネットに接続して情報交換サーバーマシンのURLを送出する。両者が接続されると、情報交換サーバーマシンから個人クライアントマシンに図2に示すホームページ（表紙画面）が送達される。このページには基本となる3つの選択肢「①FIRST TIME」「②YOUR PAGE」「③COMPANY DATA」がある。項目①をクリックすると、サーバーからクライアントに求職会員の初期登録用の画面情報が送られてくる。初期登録画面も多数のページで全体構成されており、システムの仕組みを説明する案内画面から始り、多岐にわたる個

人の求職情報を内容別に分けて入力するための登録画面がつぎつぎと出てくる。

【0017】登録画面に入力すべき内容はつぎのようなものである。名前・住所・現職・電話番号・電子メールアドレスなどの個人を特定する名簿情報と、職務経験・資格・語学・各技術分野スキルなどの求職に直接的に関連した匿名求職情報とに大別される。また、登録内容を見て欲しくない企業を指定する画面も用意されている。求職会員が入力した情報内容を整理して最終確認をとる

10 画面を図3～図5に示している。

【0018】クライアント側において登録画面に認証用IDとパスワードとを含む所要事項を記入してエントリ一操作をすると、情報記入後の画面情報がサーバー側に返送される。サーバー側では、返送されてきた画面情報からクライアントによる記入事項を抽出し、それぞれの情報をデータベース（求職会員名簿と求職情報データベース）に登録する。このとき、登録を受け付けた求職会員に対して本システム内で使用する個人IDを発番して、それを通知画面でクライアントに知らせる。

20 【0019】一方、本システムに参画しようとする企業などは、このシステムを運営している事業者に申し込みをして求人会員の登録する。この段階ではオフライン処理であり、所定の申込用紙に所要事項を記入し、事業者側の担当者のチェックを受けて、正式に契約する。このときに取得した求人会員の細かな情報を係員が所定の端末コンピュータを操作して情報交換サーバーマシンに入力し、求人会員名簿と企業情報データベースに分けて登録する。また、求人会員に対してIDとパスワードとを発行する。なお、この発明はこのようなオフライン処理30 を介在させるものに限定されるわけではなく、つぎのようにも実施可能である。

【0020】求職会員の初期登録と同じ仕組みで、本システムに参画しようとする企業は、情報交換サーバーマシンにアクセスして求人会員用ホームページを取り寄せて、登録画面に所要の事項を記入してサーバーに返送する。情報交換サーバーマシンは、求人会員に対してIDとパスワードを発行するとともに、求人会員から送られてきた情報は求人会員名簿と企業情報データベースに分けて登録する。

40 【0021】==求人会員による求職情報データベースの検索閲覧==

企業クライアントマシンから情報交換サーバーマシンに所定の認証手続き（IDとパスワードの入力）を経てアクセスし、求職会員が登録したデータベースの内容を企業の求人担当者が適宜に検索して閲覧できる。このときの閲覧対象は個人の求職情報データベースであり、求職会員名簿に掲載されている名前・住所・現職・電話番号・電子メールアドレスは見ることはできない。求職会員を区別するのはIDである。

【0022】検索を行うにはサーバーにアクセスして求

人会員別に用意されているホームページ(図6)を取り寄せて、そこから検索条件の設定画面を引きだしていく。自社専用ページの画面には基本となる4つの選択肢「①SEARCH」「②OFFERS」「③FOLLOW UP」「④RESUME」がある。また、③の補助機能的な選択肢として「FINDER」、企業名簿や企業情報の変更などのメンテナンスに関わる「情報メンテナンス」「パスワード変更」がある。

【0023】項目①をクリックすると検索条件の設定画面を引き出せる。その画面において、職務経験・資格・語学・各技術分野スキルなどの多岐にわたる属性を使って希望の人を探すための検索条件式を画面に記入してサーバーに返送する。サーバーはその検索条件式に従って求職情報データベースから該当する個人情報を引きだし、それらを規定の閲覧画面にはめ込んでクライアントに送達する。閲覧出力は、概略情報表示(図7)と詳細情報表示(図8)の2階層で行う。

【0024】企業クライアントマシンと情報交換サーバーマシンとのやり取りにおいて、クライアントが希望すれば、個人情報データベースを検索したときの検索条件式をサーバーの検索条件保存庫に保存してもらえる。保存庫には企業IDをキーとして検索条件式を保存しておき、ある企業クライアントマシンから個人情報データベースの検索要求があったときに、この保存庫に該当企業IDの検索条件式が保存されているか否かをチェックし、保存されていれば、その検索条件式を記述した検索条件設定画面をクライアントに送達する。これを受けたクライアントでは、保存してあった条件と同じ条件で検索するのであれば、それを再び入力する手間を省ける。

#### 【0025】

====求人会員から求職会員へのアプローチ====  
求人会員は、求職情報データベースを検索閲覧した結果、興味ある人材を見出した場合、その閲覧画面中にアプローチ希望のマークを記入することで、その意思を伝達してもらえる。つまり、情報交換サーバーマシンは、企業クライアントマシンからアプローチ希望マークの付いた閲覧画面が返送されてきたのを受けて、その企業IDとマークの付けられた求職会員のIDと当日の日付(アプローチ日)とをセットにしてアプローチ記録簿に記録する。また情報交換サーバーマシンは、たとえば1日に一度、定期的にアプローチ記録簿をサーチし、アプローチ日に基づいてその日に生じたアプローチ案件をピックアップし、アプローチされた求職会員に対して電子メールを送り、求人会員からアプローチがあったことを伝える。なお言うまでもないが、情報交換サーバーマシンは、アプローチ記録簿のアプローチ対象個人IDに従って求職会員名簿をサーチすることで、その求職会員の電子メールアドレスを知る。またアプローチした企業IDに従って求人会員名簿をサーチすれば、その企業の名称が分る。

#### 【0026】

====求職会員による企業情報の閲覧と打診====  
個人クライアントマシンにて、たとえば図2の求職会員向けホームページを閲覧していて「②YOUR PAGE」をクリックする。そして、所定の認証手続き(IDとパスワードの入力)を行うと、図9に示すその個人専用のホームページがサーバーから送られてくる。この個人ページには基本的な3つの選択肢「①匿名エントリー」「②企業からのメッセージ」「③レジュメの確認」がある。この画面で項目「①匿名エントリー」をクリックすると、情報交換サーバーマシンの求人会員名簿の内容と企業情報データベースの内容を組み合わせた求人会員一覧画面(図10)がクライアントマシンに送られてくる。この求人会員一覧を見て求職会員は、自分の登録情報を見てほしい相手企業を指名することができる(これが打診である)。一覧画面中の希望の企業をクリックすると、打診先の企業が求人している職種とそれに付随して打診者が希望の職種をチェックする欄、打診者が自己アピールを書き込むためのメッセージ欄などが配置された打診用の画面情報が送られてくる(図11)。これらの事項が記入された画面情報をクライアントからサーバーに返送すると、サーバーマシンでは、打診した求職会員のIDと打診された求人会員のIDと当日の日付をセットにするとともに、チェック内容やテキスト欄に記入された内容を打診返信記録簿に記録する。

【0027】また情報交換サーバーマシンでは、たとえば1日に一度、定期的に打診返信記録簿をサーチし、打診日に基づいてその日に生じた打診案件をピックアップし、打診された企業に対して電子メールを送り、求職会員からの打診があった旨を伝える。

【0028】====打診された企業による返信====  
電子メールにより打診があったことを知らされた求人会員の担当者は、情報交換サーバーマシンにアクセスし、自社専用ページ(図6)を取り寄せる。この画面には基本となる4つの選択肢「①SEARCH」「②OFFERS」「③FOLLOW UP」「④RESUME」がある。項目②を選択すると、自社を打診してきている求職会員の一覧画面がサーバーから送られてくる。つまりサーバーは、打診返信記録簿から特定の企業IDの記録を選び出し、それら打診記録

40 中の打診者IDの情報を個人データベースから拾い出して、図12のような打診者一覧画面を作成して企業クライアントマシンに送る。

【0029】この打診者一覧画面を見て、そこに掲載されている個人の詳しい情報を取り寄せて見ることができる。企業の担当者が打診者の登録情報を検討して、その関心度合いに応じた返信を打診者一覧画面に記入する。この実施例では、返信はA、B、Cの3種類に決められており、それぞれの意味内容はつきの通りである。

- (A) 非常に興味がある。ぜひ会ってみたい。
- (B) 興味がある。一応会ってみたい。

(C) 興味なし。

企業の担当者が打診者一覧画面中の評価欄にA、B、Cのいずれかを選択する。また、必要に応じて、あらかじめ設定された(A)～(C)に対応するメッセージに替えて個別のメッセージを記入する。その選択(記入)済み画面を情報交換サーバーマシンに返送する。

【0030】情報交換サーバーマシンでは、返信欄に記入されてクライアントから返送されてきた打診者一覧画面を受けて、打診返信記録簿における打診者ID・打診対象企業ID・打診日のセットに返信日と返信内容

(A、B、C)を追記する。個別メッセージが記入されればそれも追記する。そして、たとえば1日に一度、定期的に打診返信記録簿をサーチし、返信日に基づいてその日に生じた返信案件をピックアップし、返信を受けた打診者に対して電子メールを送り、「貴方が打診した企業から返信が来ました」という通知をする。なお言うまでもないが、ここまで打診者(求職会員)と求人会員とのやり取りは個人IDに基づいてなされており、個人の名前・住所・連絡先をふせた匿名で行われている。また、打診返信記録簿のデータのうち、打診日から3週間を経過したもので、返信されていないものについては順次抹消していく。

【0031】

==アプローチや返信の通知を受けた求職会員==求職会員に対して不特定の企業からアプローチがあったり、個人が打診した企業から返信があると、前述のようにその求職会員に電子メールが送られて、そのことが通知される。この通知を受けた求職会員は、情報交換サーバーマシンにアクセスし、まず図2のホームページを取り寄せて、その中から項目「②YOUR PAGE」をクリックする。そして認証手続きを済ませると、サーバーから図9に示す個人ページの画面が送られてくる。この個人ページには基本的な3つの選択肢「①匿名エントリー」「②企業からのメッセージ」「③レジュメの確認」がある。②には不特定企業からのアプローチメッセージについての項目「あなたに興味を持った企業からのメッセージ」(アプローチ)と、打診に対する返信メッセージについての項目「あなたが匿名エントリーした企業からのメッセージ」(返信)とがある。なお、すでにアプローチや返信をしてきた求人会員が再度この求職会員に向けて送ったメッセージについての項目「企業からの特別メッセージ」もある。

【0032】ここで、「アプローチ」または「返信」に相当する2つの項目のいずれかがクリックされると、サーバーはアプローチ記録簿(または打診返信記録簿)の内容に基づいて、アプローチ(または返信)をしてきた企業の概要と連絡先、それにアプローチ(返信)内容を編集したメッセージ報告画面を作成してクライアントに送る。企業側からのアプローチの場合、「あなたのスキルは大変魅力的です。ぜひお会いしてみたいと思ってい

ます。ご連絡をお待ちしています。」といった既定のメッセージに変換してアプローチ対象者に伝える。もちろん、個別のメッセージが追記されていれば、このメッセージを打診者に伝える。また、前述のように返信はA、B、Cのいずれかの符号である。この場合にも同様な既定(個別)のメッセージに変換して打診者に伝える。

【0033】==アプローチや返信の通知を受けた求職会員の実名応募==

アプローチ対象者や上記(A)(B)の評価を得た打診者には、実名応募の機会が与えられる。これらの求職会員に送られてくる画面には実名応募の項目が記載されている(図13)。なお、(C)評価が下った打診者には実名応募の項目がないメッセージだけの画面が送られてくる。

【0034】ここで、アプローチ対象者(打診者)が実名応募をするときは、実名応募項目の「実名応募画面」の欄をクリックする。サーバーは、企業情報データベースに登録されている実名応募用設問内容情報(より詳しい職歴や個人情報など)を実名応募用フォームに編集して、その画面情報をクライアントに送る(図14)。

【0035】アプローチ対象者(打診者)がそのフォームの各設問欄に回答を記入し、その画面情報を送出すると、登録済みの求職情報とこのフォームに記入した回答内容とを組み合わせた確認画面に編集してその画面情報を送出する(図15、16)。

【0036】サーバーは、この画面情報をクライアントから受け取ると、打診した求職会員のIDと実名応募された求人会員のIDと当日の日付をセットにするとともに、求職情報データベースにアクセスして、この求職会員のIDに対応する求職情報に実名応募用フォームに記入された内容を追記する。

【0037】この場合も、サーバーは、1日に一度、定期的に実名応募記録簿をサーチし、実名応募日にに基づいてその日に生じた実名応募案件をピックアップし、実名応募された企業に対して電子メールを送り、求職会員から実名応募があった旨を伝える。

【0038】==実名応募の許可申請と打診時における求職会員の実名応募==

求人会員がこのシステムを運営している事業者に適宜な方法で申し込み(初期登録)をすることは上述した。このとき、求職会員が打診してきたときにも実名応募を受け付けるかどうかを合わせて申し込む。この申し込みによって、サーバーにはその旨が記入された応募可否表が企業情報データベースに記録される(もちろん、この記録作業はオフラインで行われても、オンラインで行われてもよい)。

【0039】個人クライアントマシンにて、たとえば図2の求職会員向けホームページを閲覧していて「②YOUR PAGE」をクリックすると、図9に示すその個人専用のホームページがサーバーから送られてくる。この個人ペ

ージには基本的な3つの選択肢「①匿名エントリー」「②企業からのメッセージ」「③レジュメの確認」がある。この画面で項目「①匿名エントリー」をクリックすると、情報交換サーバーマシンは、企業情報データベース中の応募可否表を参照し、不特定の求職会員からの実名応募許可している旨が記入されている企業については、求人会員一覧画面(図10)の該当する企業名の横に「実名応募可」の表示を付けた画面を作成する。

【0040】求職会員がこの画面を取り寄せて、実名応募を許可している企業を選択(クリック)すると、実名応募の項目が記載された打診用の画面情報(図17)が送られてくる。ここで、実名応募すると上述の実名応募用フォーマット(図14)が送られてくる。その後の手続きはアプローチ対象者や(A)(B)評価打診者の場合と同じである。

【0041】====求人会員における実名応募者の検索と採用結果の記録====

実名応募があった旨の電子メールを受け取った企業の担当者は、情報交換サーバーマシンにアクセスし、自社専用ページ(図6)を取り寄せる。この画面には基本となる4つの選択肢「①SEARCH」「②OFFERS」「③FOLLOW UP」「④RESUME」がある。項目④を選択すると、自社に実名応募してきている求職会員の一覧画面がサーバーから送られてくる(図18)。つまりサーバーは、実名応募記録簿から特定の企業IDの記録を選び出し、それら実名応募記録中の実名応募者IDの情報を求職情報データベースと求職者名簿から拾い出して、実名応募者一覧画面を作成して企業クライアントマシンに送る。

【0042】この一覧画面中には現在の応募者一覧表と採用活動修了者一覧表がある。現在の応募者一覧表には新規の実名応募者や採用活動が継続中にある実名応募者名と、各人にに対する採用活動結果のチェック欄が設けられている。ここで実名応募者をクリックするとその人の名簿情報と匿名求職情報と実名応募用フォームに記入した内容とを組み合わせて編集した詳細情報の画面が送られてくる(図19)。

【0043】また、実名応募者との直接交渉による採用活動によって、採用/不採用が決定した場合。該当の欄にチェックマークを記入して記録すると、サーバーは、この記録操作に従って、マークが記録された実名応募者の求職会員IDと採用/不採用の結果とその記録日とを対応づけて実名応募記録簿に記録とともに、この採用結果がマークされた実名応募者(採用活動修了者)の一覧画面を更新して企業クライアントマシンに送る。

【0044】以上が、本実施例における求人求職情報交換システムの詳細である。参考として、このシステムの運用/動作の概略を図20、21に示した。

【0045】====情報交換システム====

上記実施例において、求職会員→第1種会員、求人会員→第2種会員として、求職情報→第1種提示情報、求人

情報→第2種提示情報などと置換すると、上述の求人求職情報交換システムの概念は、例えば、以下の情報交換サービスに応用することもできる。中古品等売買情報交換サービス、結婚情報交換サービス、特許権者と実施希望者との情報交換サービスなど、応用が可能な情報交換サービスは無数にある。

【0046】

【発明の効果】WWWサーバーのデータベースに蓄積された個人の求職情報を求人企業の担当者がクライアントマシンから検索閲覧でき、またWWWサーバーに蓄積された企業の求人情報を求職や転職を希望している個人がクライアントマシンから検索閲覧できる。このような単純な情報サービスを行うシステムに対し、この発明の求人求職情報交換システムは明確に一線を画している。

【0047】この発明のシステムによれば、潜在転職希望者は求職会員として自分の経歴をデータベースに登録し、求人企業は求人会員として求人内容をデータベースに登録する。求職会員と求人会員は相互にデータベースの内容を検索閲覧できる。ただし、求職会員の名前・住所・連絡先は当該情報交換システムの会員名簿として管理されているが、求人会員に対する検索閲覧時には隠される。そのため潜在転職希望者は気軽にこのシステムを利用できるし、求人企業もより多くの人材情報を調べることができる。

【0048】またこの発明においては、求人企業側は、転職希望者の経歴を検索してこれはと思う人材を見ついたならば、その求職会員IDを特定したコメント情報を付けて当該情報交換システムに返信することでアプローチを試みる。これを受けて当該情報交換システムは、会員IDに基づいて該当の求職会員宛に電子メールを送達する。これで企業の意志が匿名の潜在転職希望者に伝わる。

【0049】また潜在転職希望者の側は、自分が興味を持っている企業を指定することで打診することができる。この打診が当該情報交換システムにより該当の企業に電子メールとして伝えられる。したがって、企業側は興味を寄せている人材に的を絞って効率よく検討できる。もちろん、企業側の検討結果がコメント情報として当該情報交換システムを経由して転職希望者(匿名会員)に間接的に伝わる。

【0050】さらに、アプローチした求職会員や打診してきた求職会員の中で企業側が興味を寄せている人材に対しては、実名を証して応募できる機会を与えることで、直接的で現実的な採用(転職)活動への移行がスムーズに行える。また、遠隔地や多忙によって直接面接する機会が少ない求職者にとっては、ある程度話が煮詰まってから直接交渉すればよい。したがって、面接に赴くための時間や費用を節約することもできる。

【0051】求人会員は必要に応じて、不特定の求職会員からの実名応募を受付可能とすることもできる。それ

によって、積極的に自社に転職を希望する個人を発掘することができる。また、打診件数が少ない企業にとっては、求職会員に自社をアピールする機会となる。

【0052】このように本発明の求人求職情報交換システムによれば、匿名の潜在転職希望者の経験および企業の求人内容に基づいて、互いの関心が深化するならば、匿名のままで新たな情報を交換したり、希望に応じて匿名を解消してより具体的な交渉に繋げることができる。なお、このように身元を明した個人や企業と匿名の人との間でオープンな情報を交換したり、希望に応じて実名を証した当事者同士の情報を交換する情報交換システムは求人求職の情報交換に限らず、他のさまざまな分野に適用可能である。それによって、社会的に有意義な価値を生みだせる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の情報交換システムを求人求職情報交換に適用した場合の通信ネットワークの概略構成図である。

【図2】同上実施例における求職会員の初期登録用の画面を示す図である。

【図3】同上実施例における求職情報の登録確認画面を示す図その1である。

【図4】同上実施例における求職情報の登録確認画面を示す図その2である。

【図5】同上実施例における求職情報の登録確認画面を示す図その3である。

【図6】同上実施例における求人会員ごとの自社専用ページを示す図である。

【図7】同上実施例における求職情報の閲覧出力の概略モード画面を示す図である。

【図8】同上実施例における求職情報の閲覧出力の詳細モード画面を示す図である。

【図9】同上実施例における求職会員ごとに専用の個人ページを示す図である。

【図10】同上実施例における求人会員の一覧表示画面を示す図である。

【図11】同上実施例における打診用画面を示す図である。

【図12】同上実施例における打診者一覧表示画面を示す図である。

【図13】同上実施例におけるアプローチ対象者に対するメッセージ内容表示画面を示す図である。

【図14】同上実施例における実名情報用フォーマットを示す図である。

【図15】同上実施例における実名情報の登録確認画面を示す図その1である。

【図16】同上実施例における実名情報の登録確認画面を示す図その2である。

【図17】同上実施例における不特定多数からの実名応募を受け付ける求人会員に打診するときに表示される画面の図である。

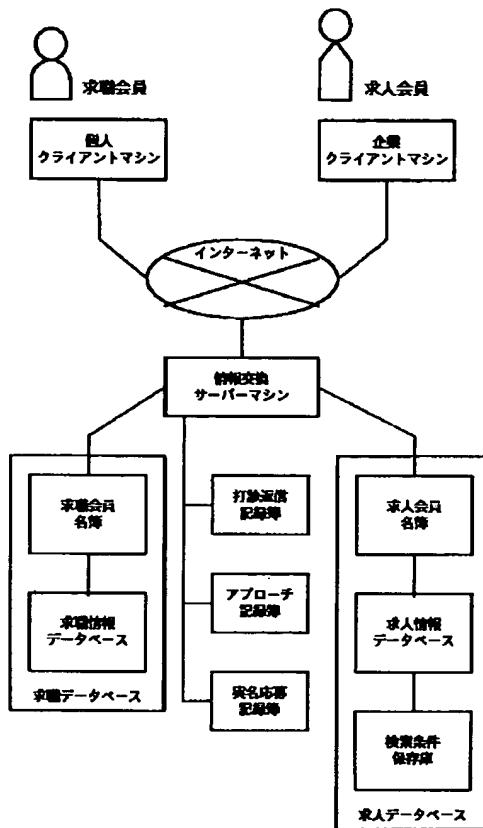
【図18】同上実施例における実名応募者一覧画面を示す図である。

【図19】同上実施例における実名応募者詳細画面を示す図である。

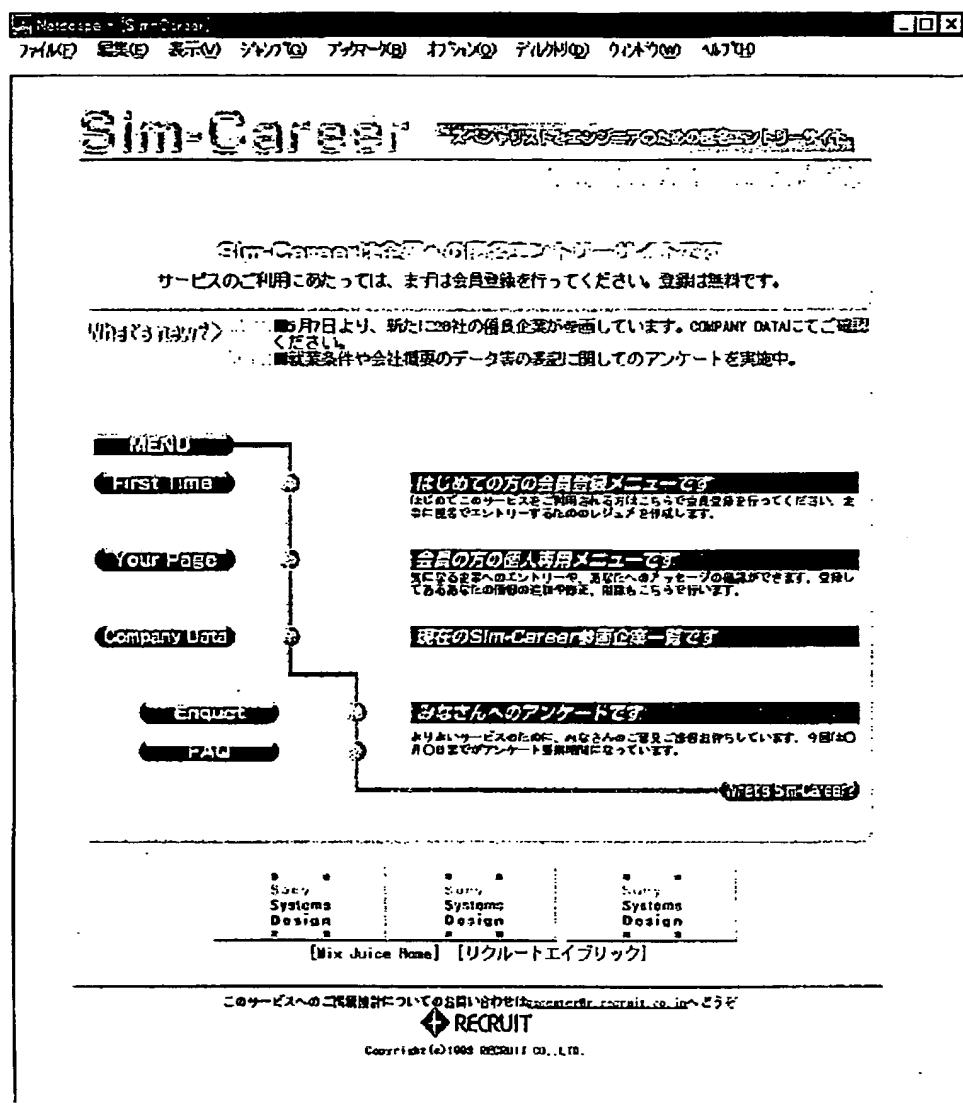
【図20】同上実施例における求職会員および求人会員がおこなう手続きと処理の流れ図その1である。

【図21】同上実施例における求職会員および求人会員がおこなう手続きと処理の流れ図その2である。

【図1】



【图2】



【図3】

NetScape - [Sim-Career]

ファイル 優先表示 シンプル アイコン オンスクリーン ディレクトリ ウィンドウ ヘルプ

## Sim-Career

現在エントリーされている情報は以下の通りです。  
ご確認ください。

■ID: kameo98  
 ■パスワード: gullidrone  
 ■初回登録日: 1997/12/12  
 ■最終更新日: 1997/12/22

あなた自身についての情報

■プロフィールについて  
 氏名: カモメ次郎  
 E-MAIL: kameo@kameo.com  
 住所: 中央区銀座10丁目  
 電話番号: 03-3333-9999  
 ここまでのお問い合わせは企業に公開されません

生年月日: 1990年12月31日  
 最終学年: カモメ大学 理工学部 情報通信学科  
 その他学年について: シーガル大学電子  
 準定説明: 2年間学習してました  
 現在の年収: 2000万以上

■希望条件について

希望する仕事内容  
 カモメ次郎がこれまでお世用を主にやってきたので、大規模システムの経験は豊富です。UNIXのスキルも身につけつつあるので、オープンシステム系の業務アプリケーションがやりたい。

希望職種  
 システムアナリスト・コンサルタント

希望業種  
 マスコミ・出版

希望勤務地  
 ●東京23区  
 ●東京都下  
 ●神奈川  
 ●北埼道

希望年収  
 ●750万～799万

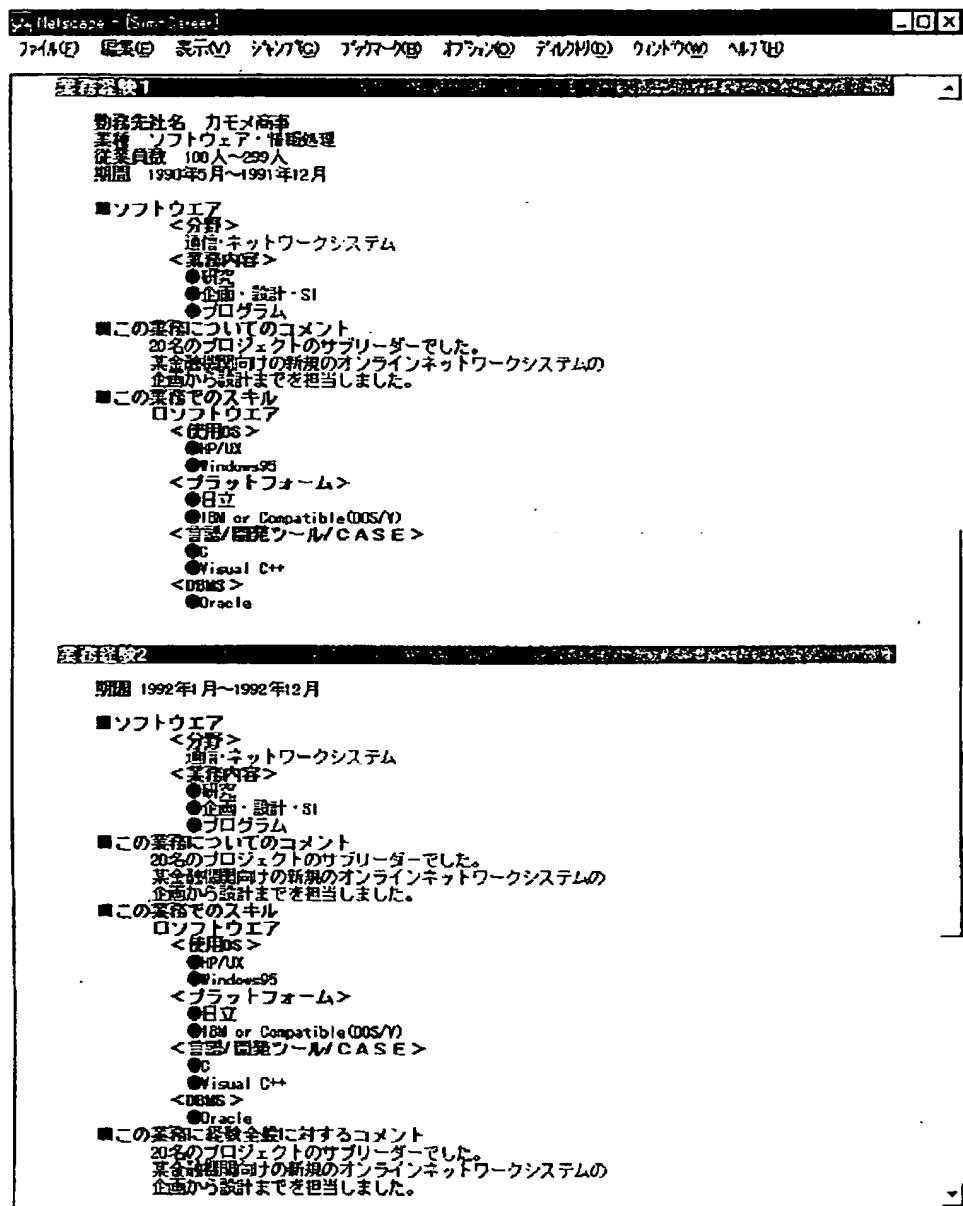
希望就職時期  
 ●1998年1月頃

■資格認定について

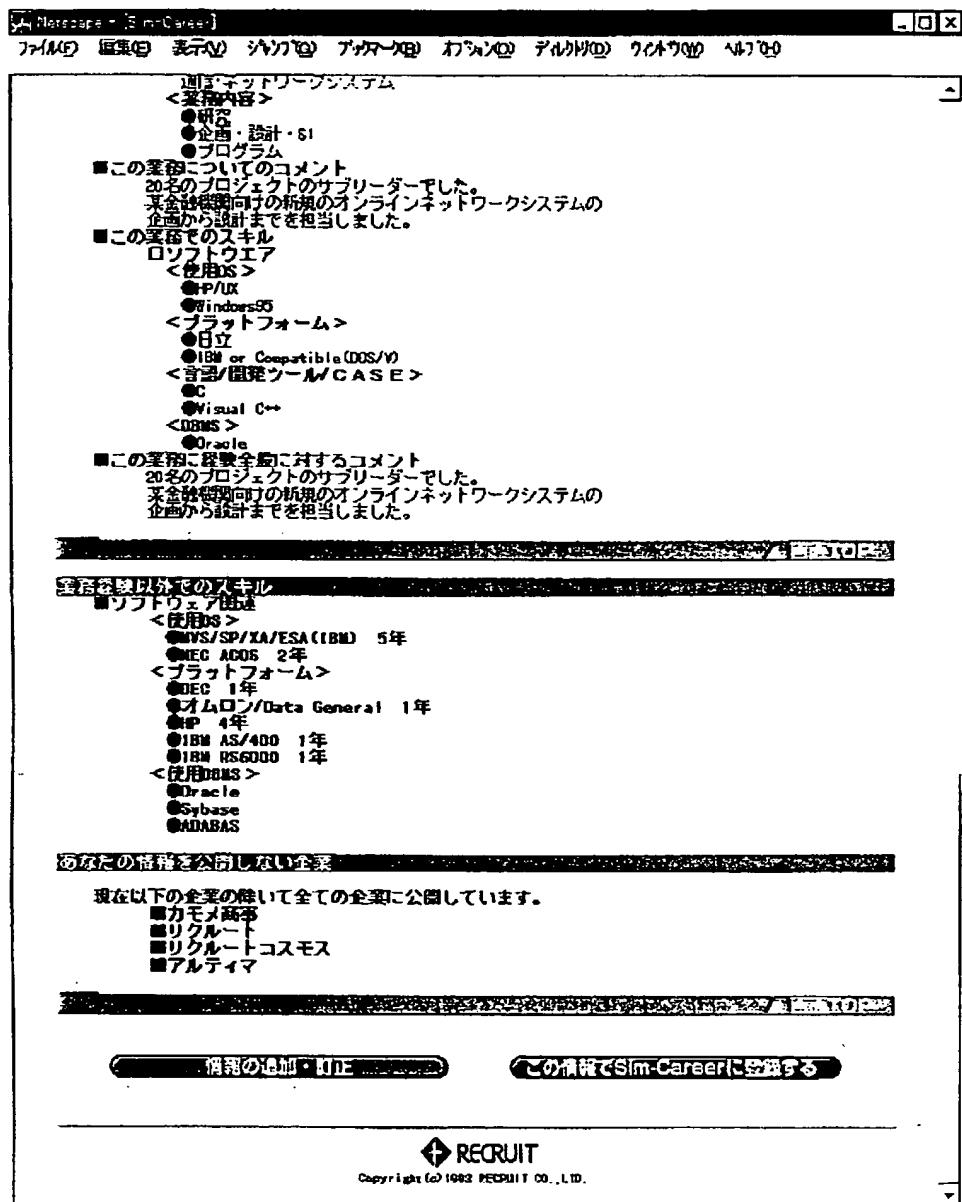
資格認定の情報  
 第1種電気工事士  
 工事主任者アドロダ第1種  
 システム監督技術者

認定入試の情報  
 TOEIC / 600点  
 英語会話 (文部省レベル)  
 中会話  
 フィリピン語

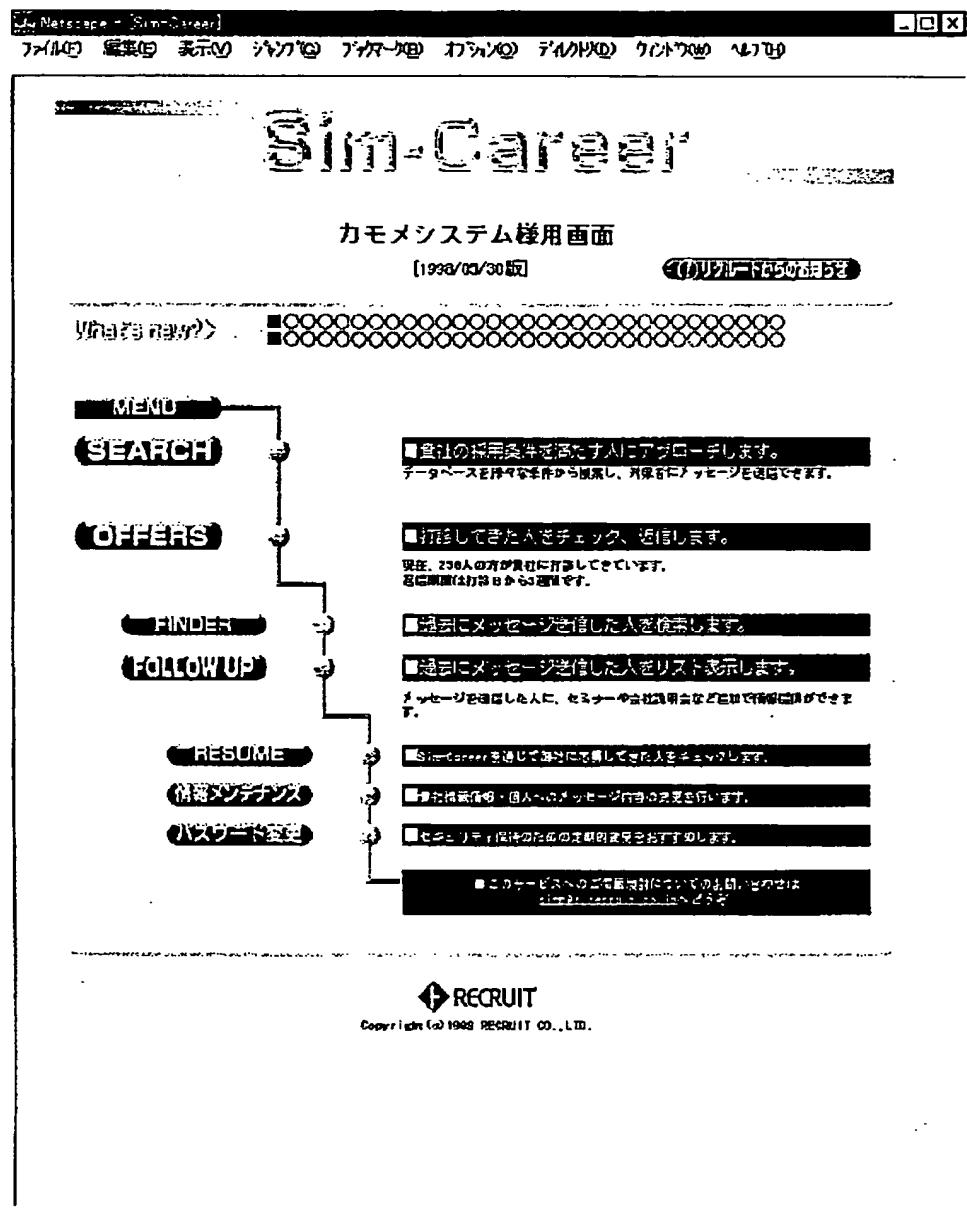
【図4】



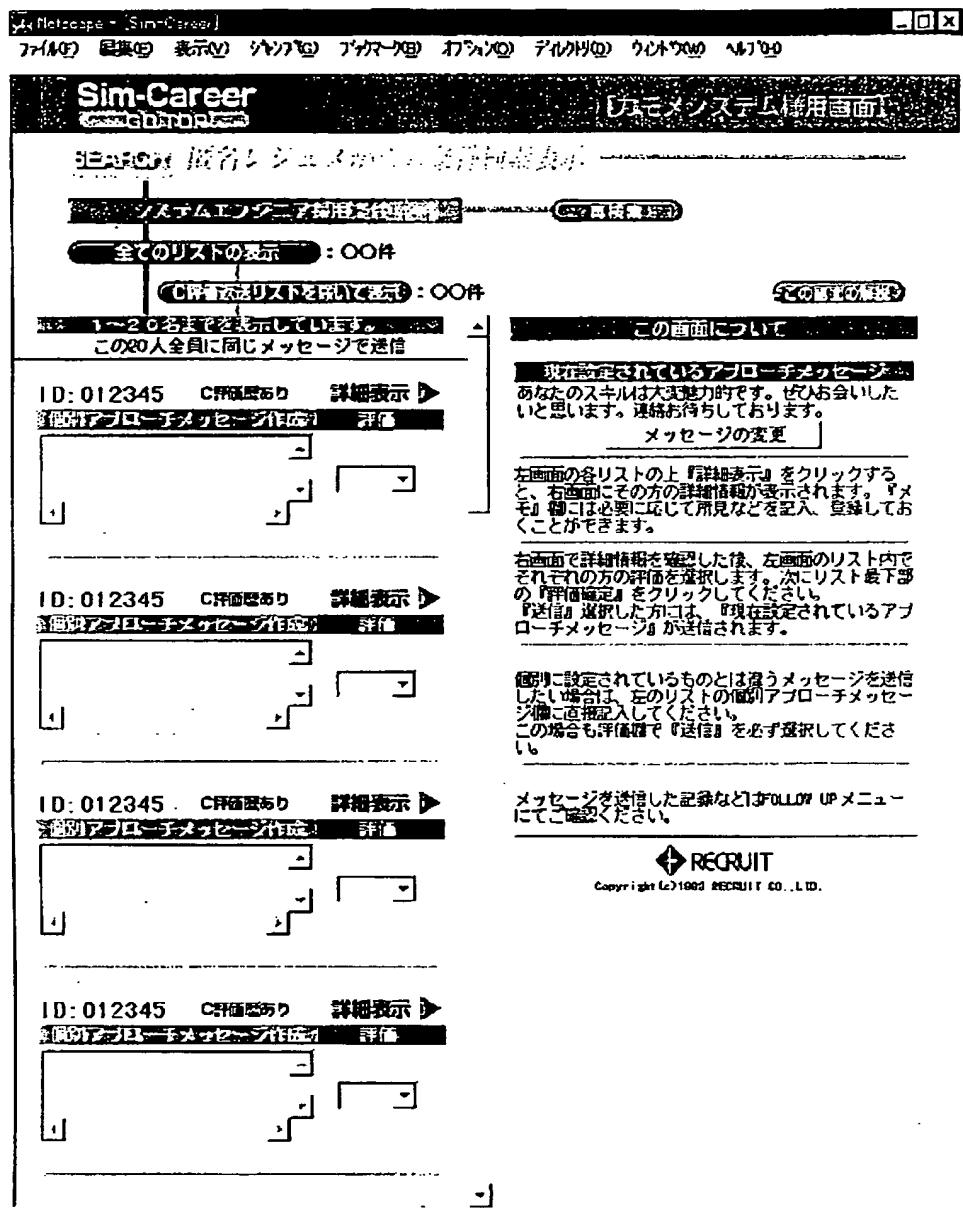
【図5】



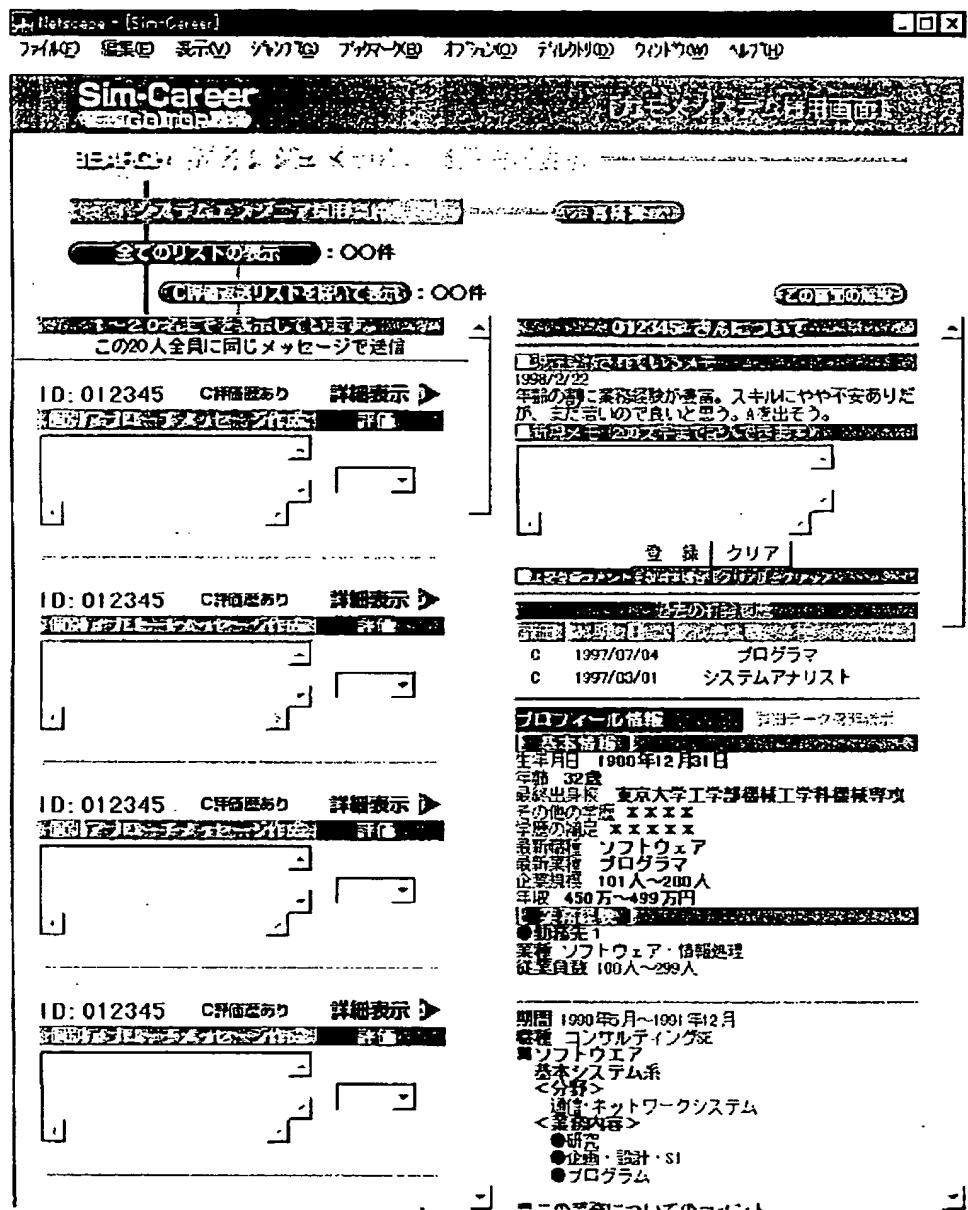
【図6】



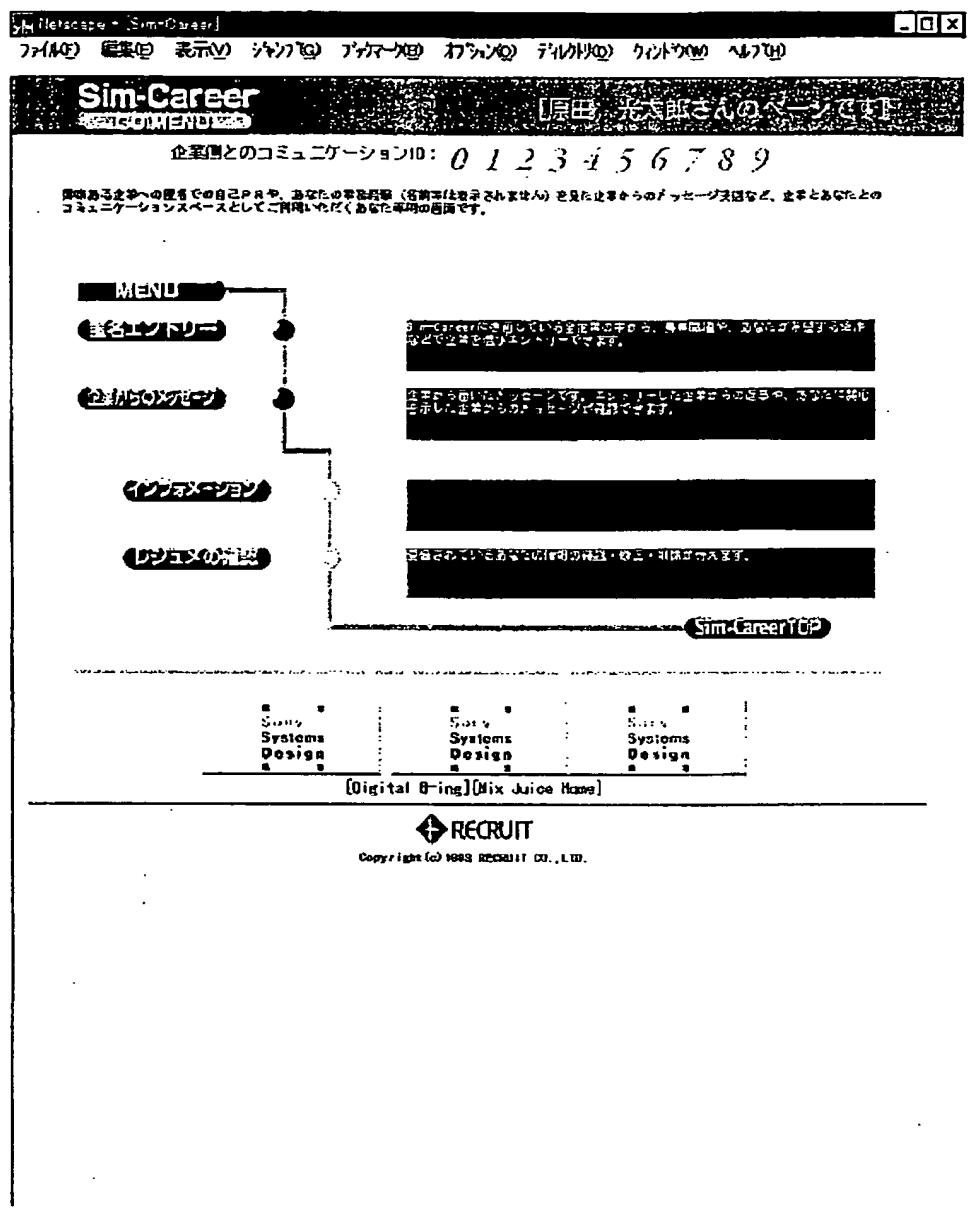
〔図7〕



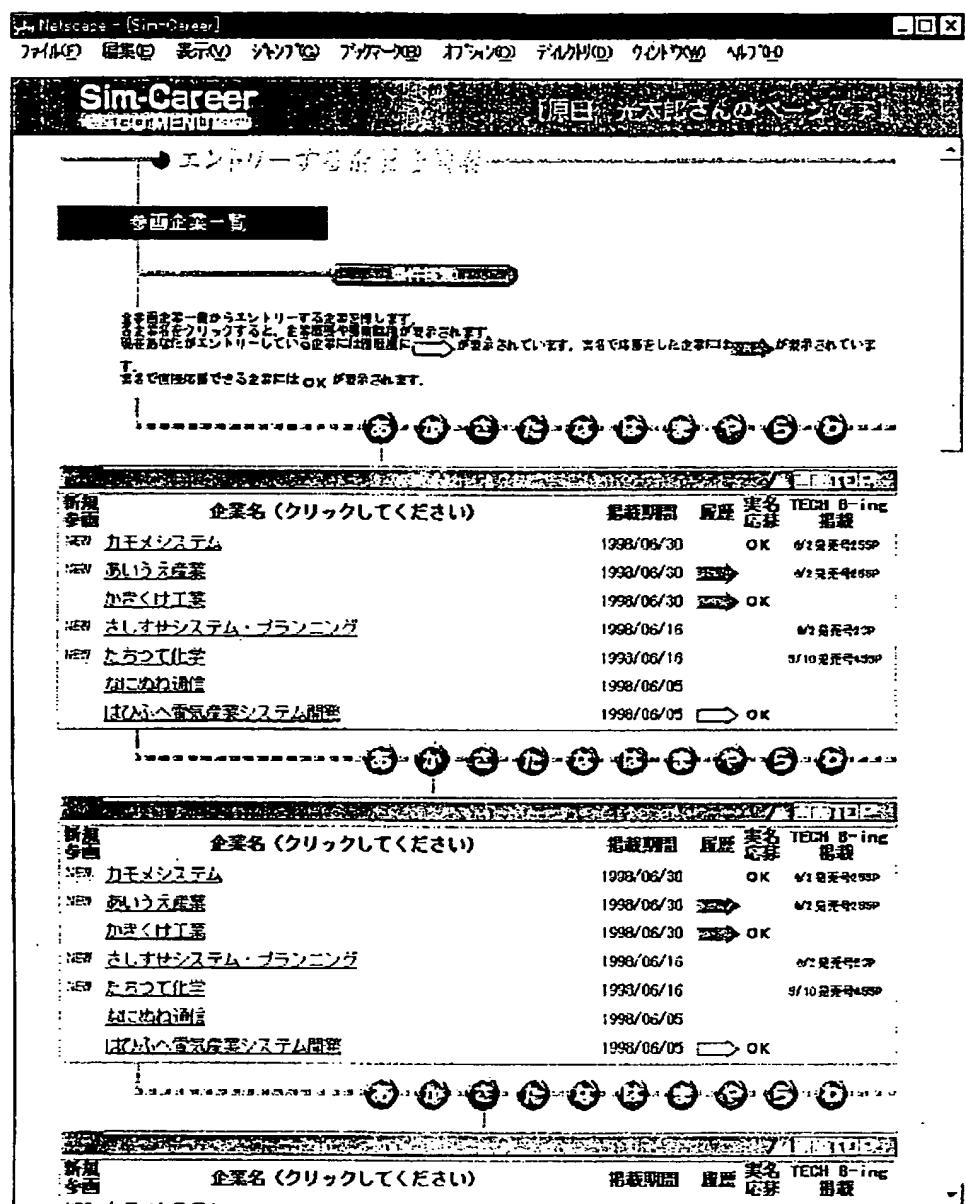
【図8】



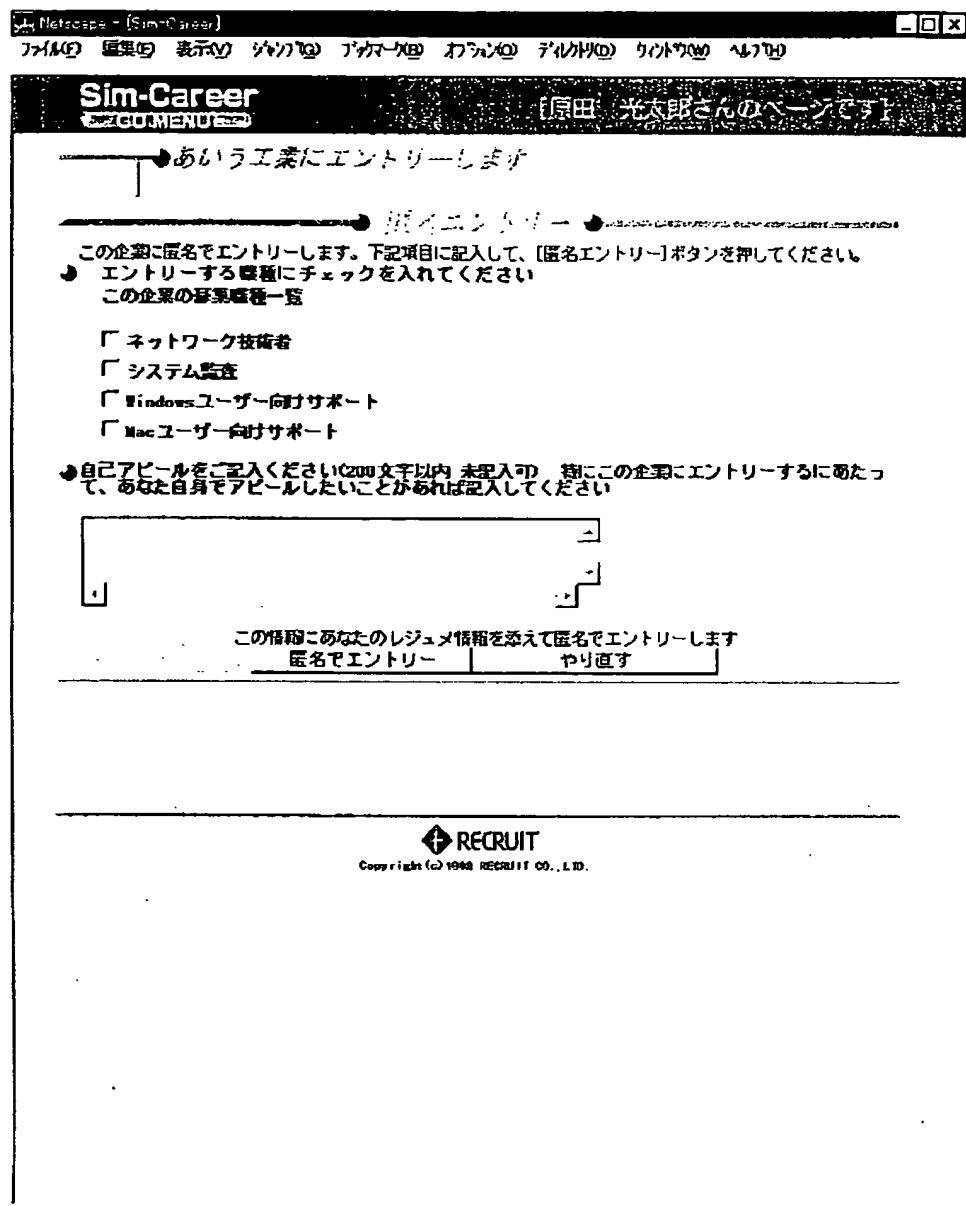
【图9】



【図10】



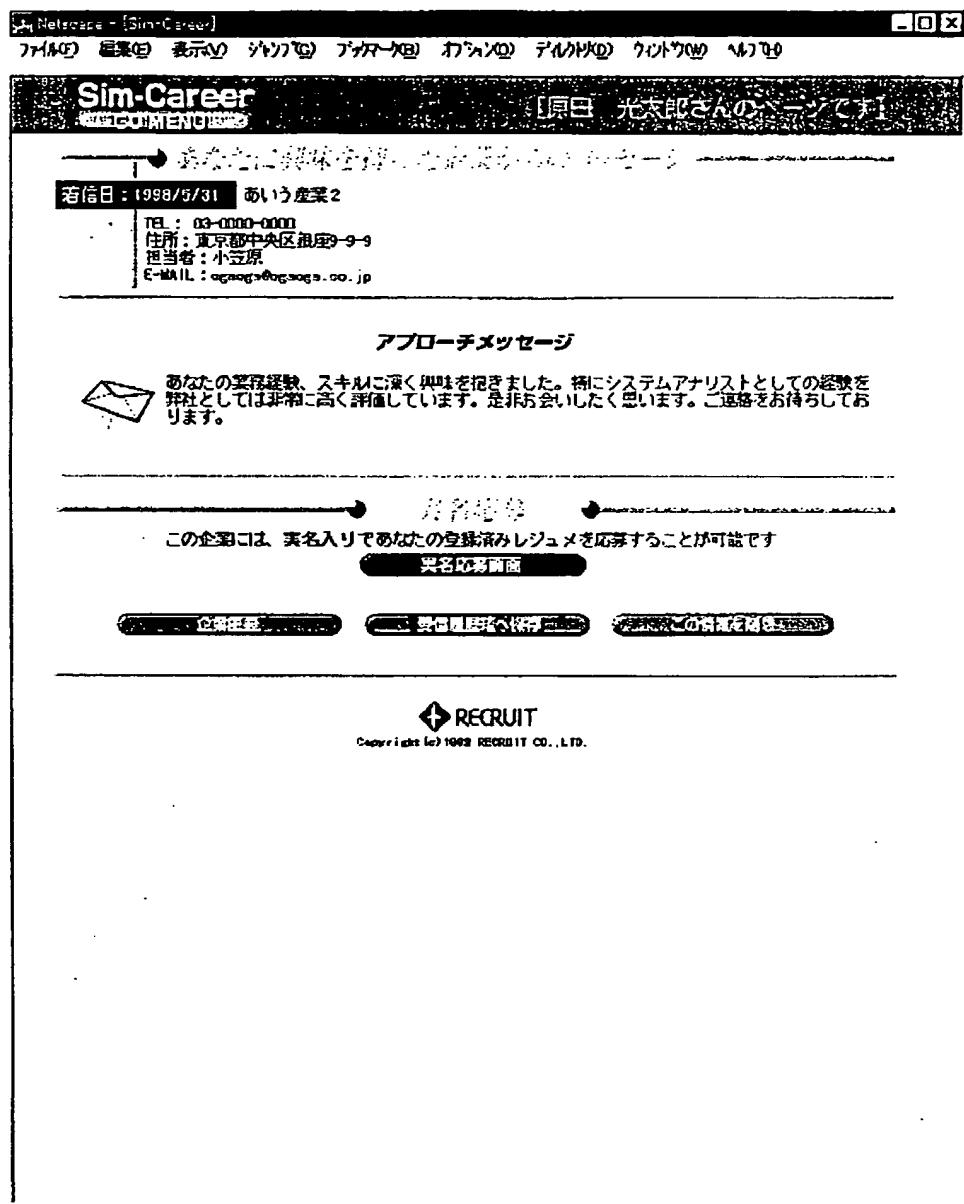
【図11】



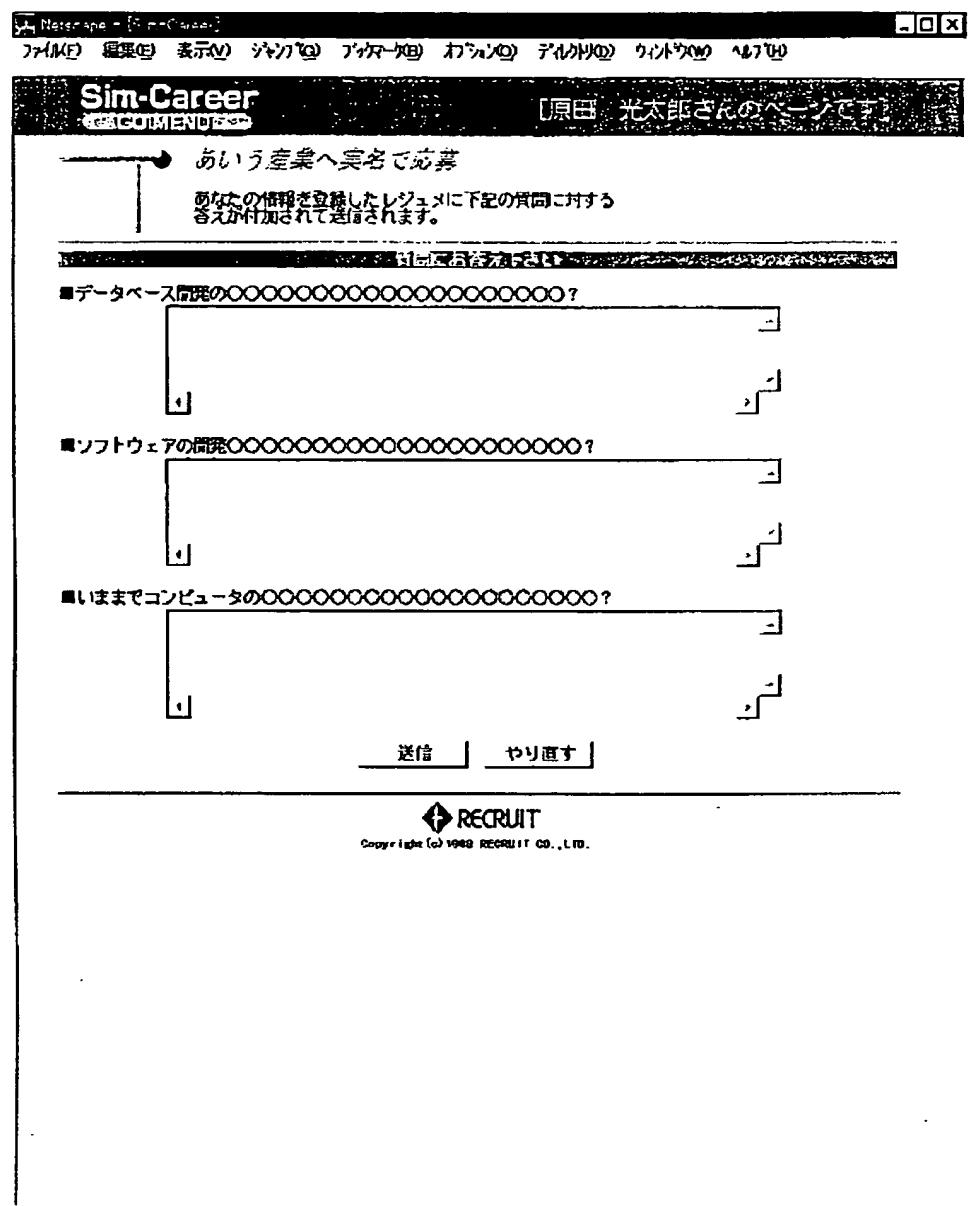
【図12】



【図13】



【図14】



【図15】

NetScout - [Sim-Career]

ファイル 延長回 表示回 シリーズ ブックマーク オンスクリーン ディレクトリ リストウインドウ ヘルプ

**Sim-Career** **【原田 光太郎さんのページです】**

お問い合わせ工場に実名で応募します

レジュメ内容を確認してください **レジュメ情報の変更**

あなたの自身についての情報

■プロフィールについて

氏名 カモメ光太郎  
E-MAIL [kamo@kamo.com](mailto:kamo@kamo.com)  
住所 中央区銀座10丁目  
電話番号 03-3599-9999  
生年月日 1970年12月31日  
専門学校 カモメ大学 理工学部 情報通信学科  
その他学歴について シーウル大学留学  
論文発表 2年論文貢献してました  
現在の年収 2000万以上

■希望条件について

希望する仕事内容  
これまでお小遣を手こやってきたので、大規模システムの経験は豊富です。UNIXのスキルも身につけてあるので、オープンシステム系の業務アプリケーションがやりたい。

希望職種  
システムアナリスト・コンサルタント

希望業種  
マスコミ・出版

希望勤務地  
●東京23区  
●東京都下  
●中央区  
●北区

希望年収  
●700万～799万

希望就業時期  
●1998年4月頃

■資格認定について

資格認定の情報  
第1種電気工事士  
工事担任者アナログ第1種  
システム監査技術者

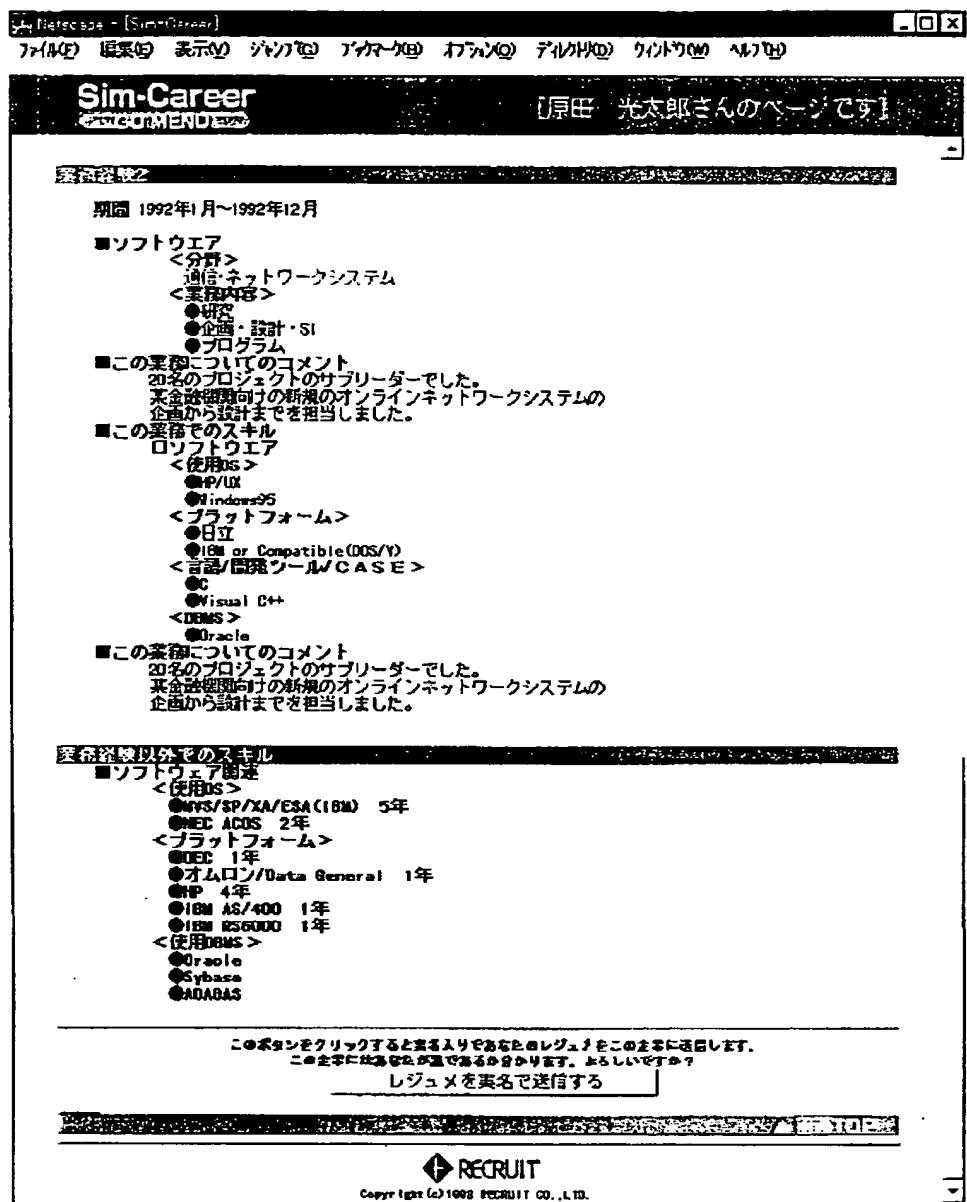
語学スキルの情報  
TOEIC / 600点  
英語会話（文部レベル）  
中国語  
フィリピン語

補足コメント  
海外会社の経験により英語はネイティブなみです。

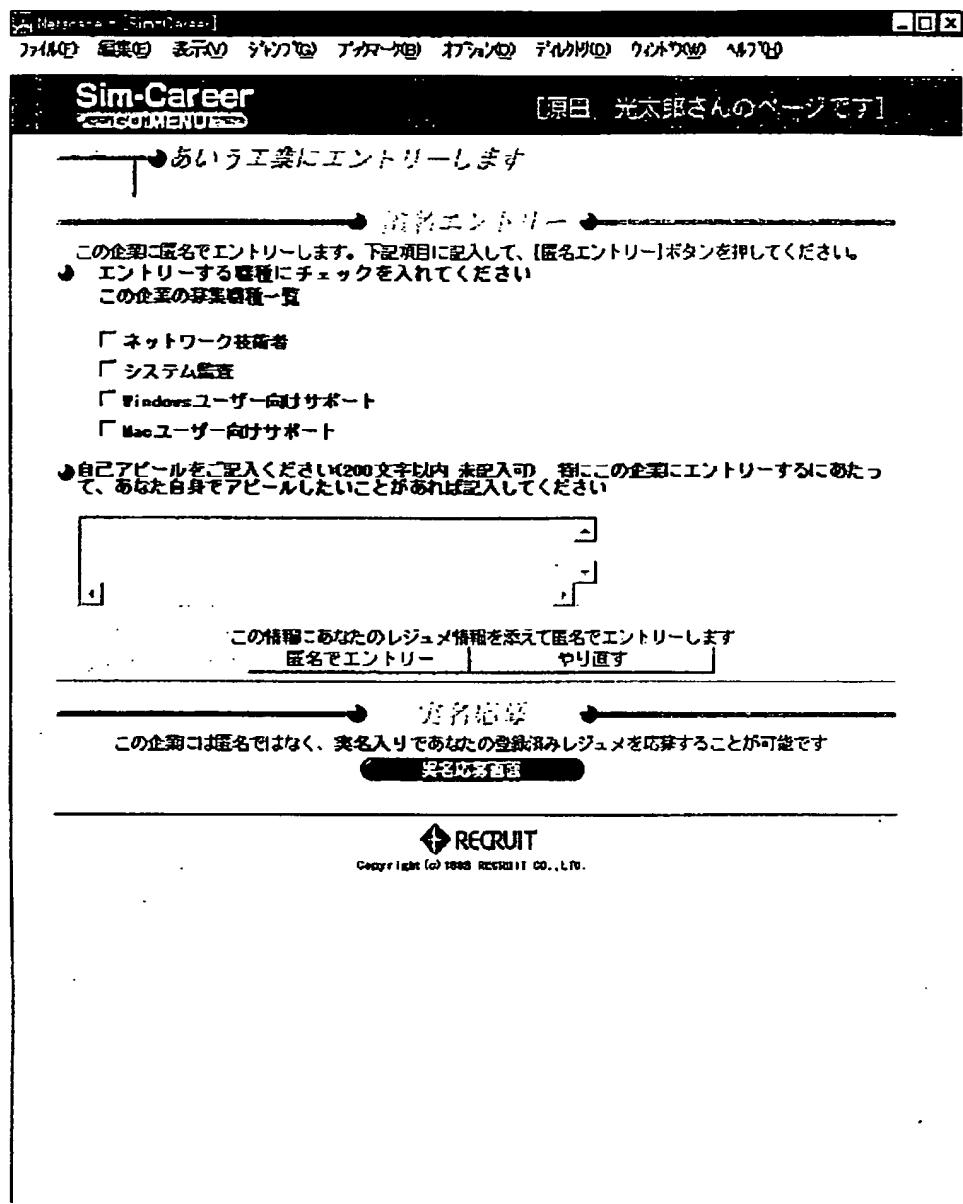
■就活経験1

就活先社名 カモメ商事  
業務内容 ソフトウェア・情報処理

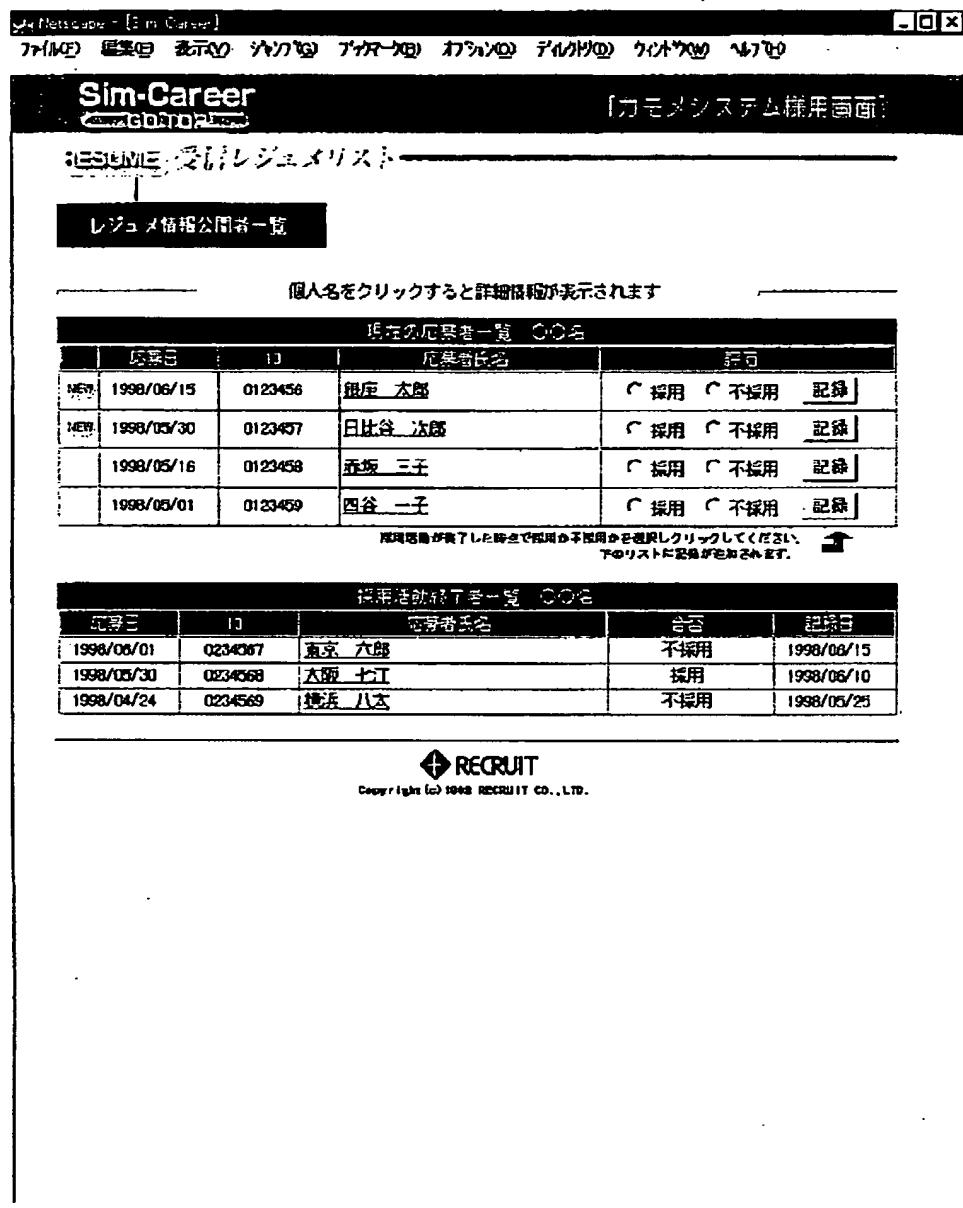
【図16】



【図17】



【図18】



【図19】

NetScape - [Sim-Career]

ファイル 優先表示 ハードウェア プロマーケティング オンライン データベース クラウド メルマガ

**Sim-Career** [カモメシステム就用画面]

■ 横田太郎さん情報 [ID:0123456]

■ E-MAIL gull@gull.gull.or.jp  
■ 住所 東京都中央区銀座111-1  
■ 電話番号 00-000-0000

レジュメ ミュニケーション 面接室 就用プロセス

追加入力情報

■ プロフィールについて

生年月日 1900年12月31日  
最終学歴 カモメ大学 理工学部 情報通信学科  
その他学歴について シーガル大学 異学  
補足説明 2年語学修了してました  
現在の年収 2000万以上

---

■ 希望条件について

希望する仕事内容  
これまでPC用機を主にやってきたので、大規模システムの経験は豊富です。UNIXのスキルも身につけつつあるので、オープンシステム系の業務アプリケーションがやりたい。

希望職種  
システムアナリスト・コンサルタント

希望業種  
マスコミ・出版

希望勤務地  
● 東京都区  
● 東京都下  
● 横浜川  
● 横浜道

希望年収  
● 750万～799万

希望就職時期  
● 1998年4月頃

---

■ 資格認定について

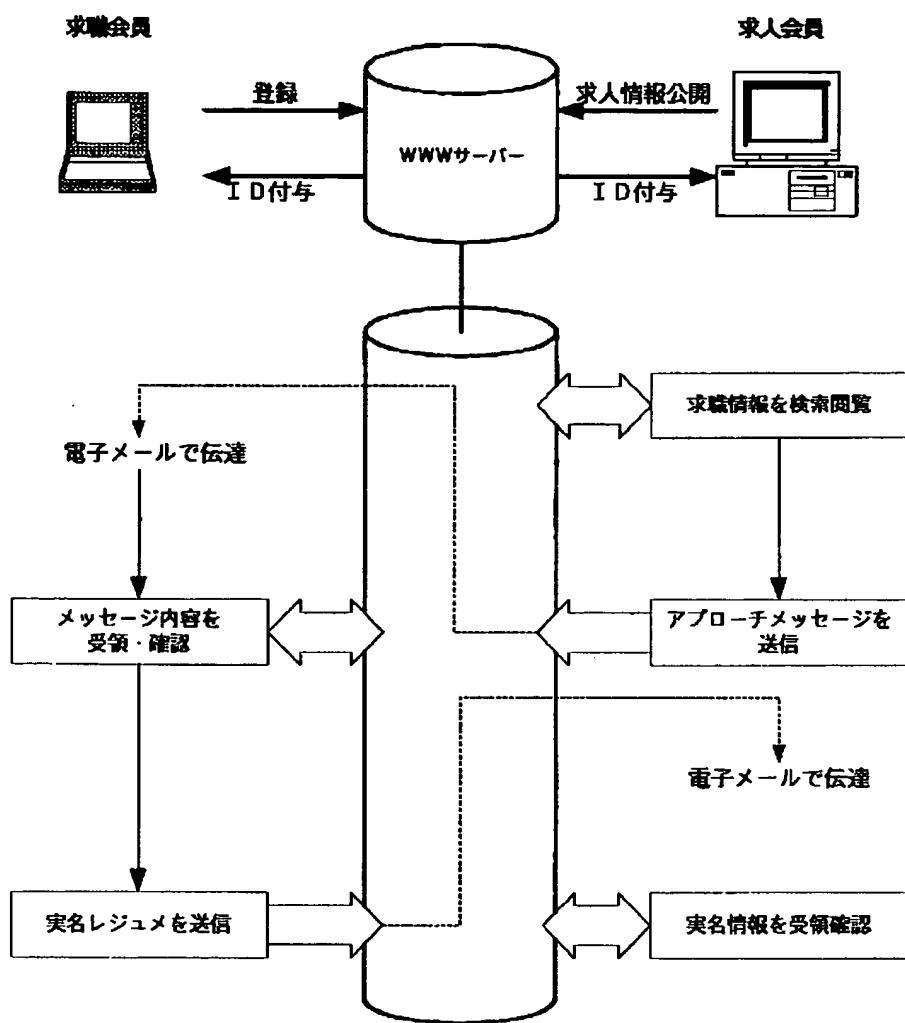
資格認定の情報  
第1種電気工事士  
工事主任者アドバクテ第1種  
システムエンジニア

英語スキルの情報  
TOEIC / 600点  
英語会話 (文部レベル)  
中国語  
フィリピン語

补足コメント  
海外留学の経験により英語はネイティブなみです。

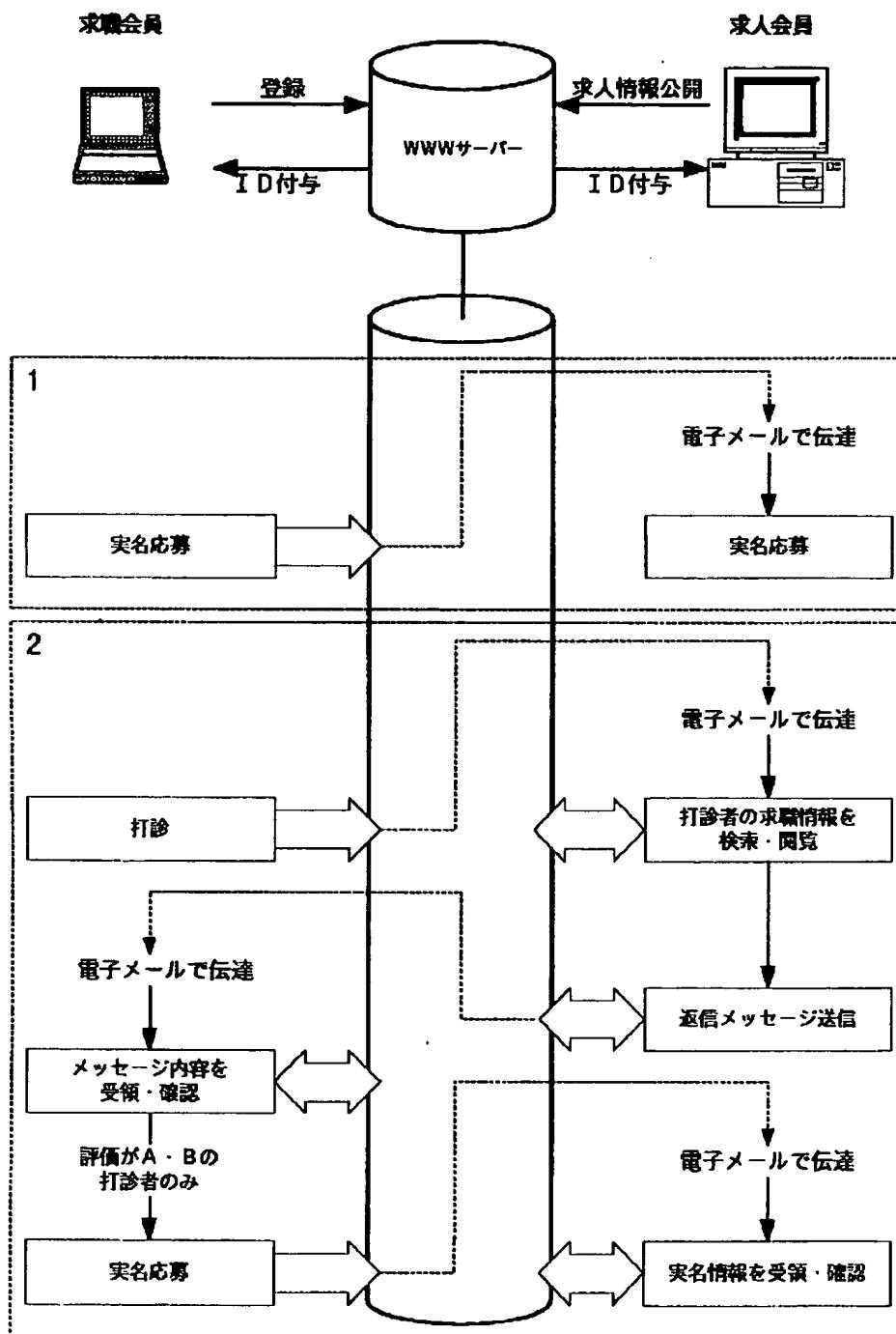
【図20】

## 登録→アプローチ→実名応募までの流れ



【図21】

1. 登録→実名応募までの流れ
2. 登録→打診→返信→実名応募までの流れ



フロントページの続き

(72)発明者 土橋 裕次郎  
東京都中央区銀座8丁目4番17号 株式会  
社リクルート内

Fターム(参考) 5B049 CC02 EE05 FF03 FF04 GG04  
GG07  
5B075 KK03 KK07 KK13 KK33 KK37  
ND03 ND20 ND23 ND36 NR03  
NR12 PP23 PQ02 PQ46 UU08  
UU24